



Ver24

施工計画書作成支援

豊富なマスタを利用し、工事成績評価点アップを支援する施工計画書作成支援の操作手順が習得できます。

※解説がオプションプログラムの内容である場合があります。ご了承ください。

目次

1. インデックス	1
1-1 インデックスを起動する	1
1-2 自社情報の入力	2
1-3 インデックスの画面構成	3
1-4 新規に工事を作成する	4
1-5 工事データを開く/閉じる	6
1-6 工事データのバックアップ/リストア	8
1-7 各種設定のバックアップ/リストア	14
1-8 資機材・組織・人材マスタの登録	18
1-9 積算データの取込み	20
2. 施工計画書の作成	24
2-1 施工計画書作成支援の起動	24
2-2 新規施工計画書の作成	25
2-3 工事内容の作成	27
2-4 施工管理計画の設定	28
2-5 施工計画書のページ編集	42
2-6 現場組織表の作成	47
2-7 施工方法の作成	50
2-8 施工管理計画の作成	53
2-9 書類の追加と削除	59
2-10 施工計画書の出力とプログラムの終了	61

3. 変更施工計画書の作成	66
3-1 工事内容の変更	66
3-2 設計変更施工計画書の作成	68
参考. 入力専用ライセンス	入力専用-1
1-1 入力専用ライセンスの使用方法	入力専用-1
1-2 入力専用ライセンスでEX-TREND武蔵を起動する	入力専用-3
1-3 入力専用ライセンスの終了	入力専用-4

1

インデックス

EX-TREND武蔵のデータは [EX-TREND武蔵 インデックス] で工事ごとに管理します。

ここでは、インデックスの起動、自社情報の入力、工事データの新規作成、バックアップの方法などを説明します。

1-1 インデックスを起動する

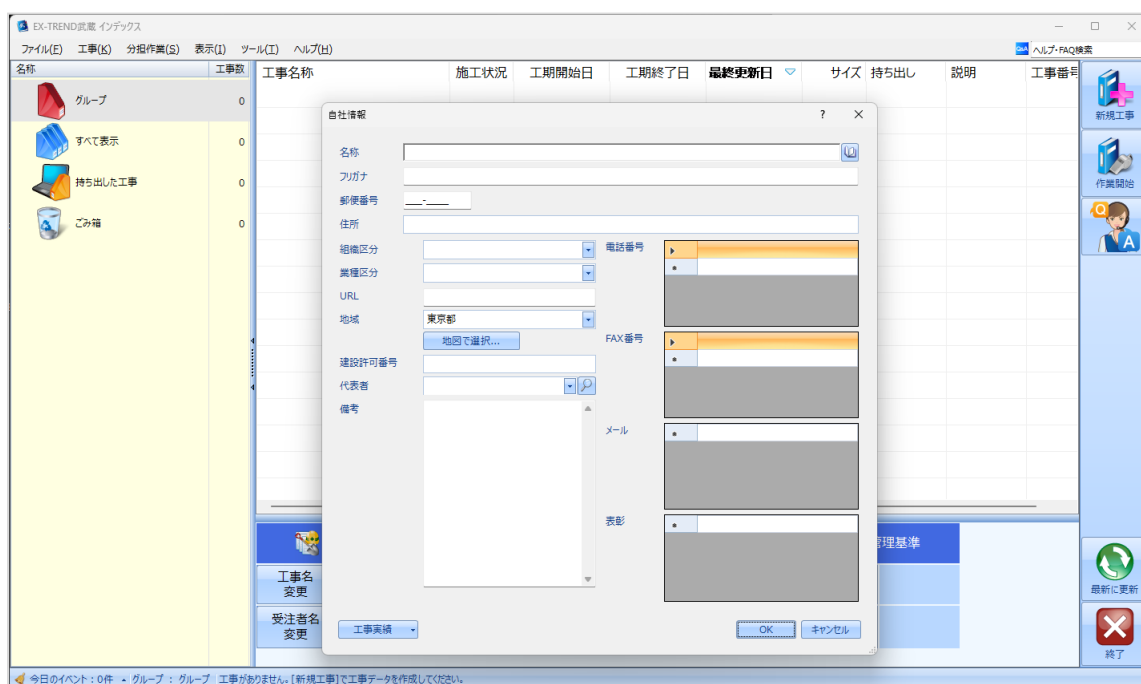
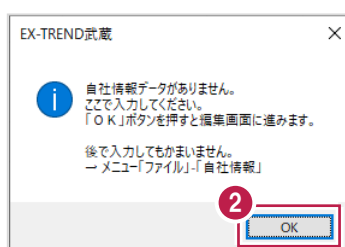
[EX-TREND武蔵 インデックス] を起動します。

- 1 [EX-TREND 武蔵 インデックス] をダブルクリックします。



- 2 確認メッセージが表示された場合は、[OK] をクリックします。

EX-TREND 武蔵 インデックスが起動します。



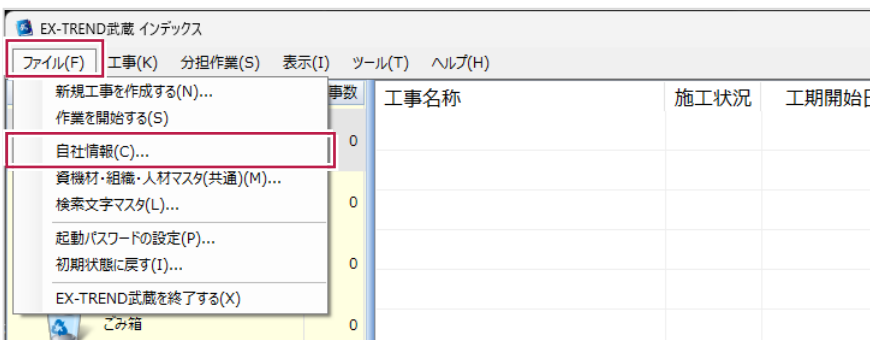
1-2 自社情報の入力

インデックス起動時に表示される自社情報を入力します。

- 1 名称（会社名）や住所、電話番号、地域などを入力します。
- 2 [OK] をクリックします。

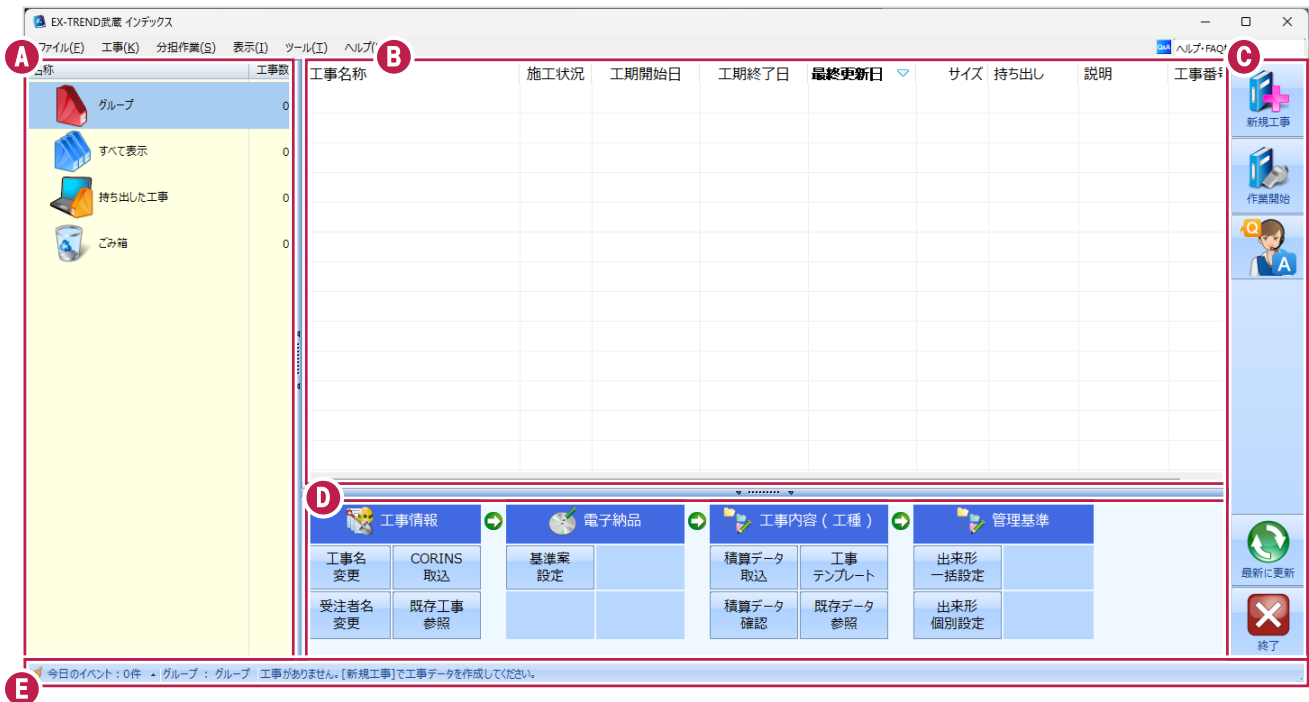
[キャンセル] をクリックすると、次回インデックス起動時に自社情報ダイアログが再表示されます。

- ・ 自社情報に入力した内容は、各プログラムの共通の情報として連動します。
例えば、[地域] は電子納品の要領・基準案などに初期設定として反映されます。
- ・ 自社情報はメニューバーの [ファイル] - [自社情報] で編集できます。



1-3 インデックスの画面構成

インデックスの画面周りを説明します。



<p>A グループ一覧</p>	<p>工事をグループごとに管理できます。</p> <p>グループを選択すると、所属する工事が B (工事一覧) に表示されます。</p> <p>右クリックして表示されるポップアップメニューでグループを追加・編集・削除できます。</p> <p>グループは 5 階層まで作成可能です。</p>
<p>B 工事一覧</p>	<p>A (グループ一覧) で選択中のグループの工事が一覧表示されます。</p> <p>[表示] - [工事の表示方法] で、表示方法の切り替えが可能です。</p>
<p>C アイコンバー</p>	<p>[新規工事] : 新しい工事を作成します。</p> <p>[作業開始] : 選択した工事の作業を開始します。</p> <p>[QA] : よくある質問への回答を閲覧できます。</p> <p>[最新に更新] : 一覧を最新に更新します。</p> <p>[終了] : アプリケーションを終了します。</p>
<p>D 工事編集パネル</p>	<p>[工事情報] [電子納品] [工事内容(工種)] [管理基準] を編集するコマンドを実行できます。</p>
<p>E ステータスバー</p>	<p>スケジュールに入力したイベントや工事データの保存先などが表示されます。</p>

1-4 新規に工事を作成する

新しい工事を作成します。

- 1 [新規工事] をクリックします。

グループごとに工事を管理する場合は、所属するグループを選択して [新規工事] をクリックしてください。
※工事作成後にグループを移動することもできます。

名称	工事数	工事名称
グループ	0	
2018年度	0	
2019年度	0	



- 2 [新しく工事を作成する] をクリックします。

その他の作成方法は以下の通りです。

【既存工事から作成する】

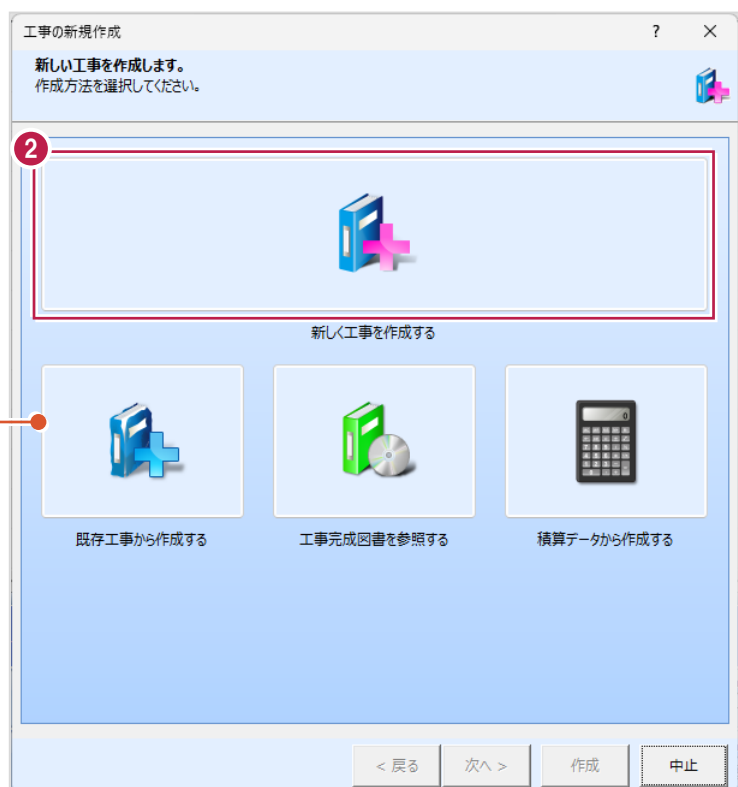
既存の工事データを再利用して工事を作成する場合に選択します。

【工事完成図書を参照する】

発注者からのデータや以前の納品データを参照して工事を作成する場合に選択します。

【積算データから作成する】

積算ソフトのデータを元に工事を作成する場合に選択します。
※工事作成後に積算データを読み込むこともできます。



③ [工事名称] を入力します。
 ここでは、「サンプル工事」と入力します。
 必要に応じて、[工期開始・終了日] など、
 他の項目も入力してください。

④ [電子納品を行う] をオンにします。

電子納品を行わない場合は、
 [電子納品を行う] をオフにしてください。

⑤ [作成] をクリックします。
 工事が作成されます。

工事の新規作成

工事の基本情報を入力します。
 工事名称を入力してください。それ以外は後からでも変更できます。

③ 工事名称 サンプル工事

発注年度 (西暦) 2023

工事番号

工事箇所

河川路線名等

工期開始・終了日 2023年10月 3日 ~ 2023年10月 3日

請負金額 0 円

工事内容

④ 電子納品を行う

要領・基準案の選択...

成果設定

出荷時設定 武蔵

CORINS読み込み...

アイコン

工事カラー
 ここをクリックします

< 戻る 次へ > ⑤ 作成 中止

名称	工事数	工事名称	施工状況
グループ	1	サンプル工事	着工前
すべて表示	1		
持ち出した工事	0		
ごみ箱	0		

工事名称などの情報を変更する場合は、工事データで右クリックして [工事情報] をクリックしてください。

名称	工事数	工事名称	施工状況	工期開始日	工期終了日	最終更新
グループ	1	サンプル工事	着工前	2023/10/02	2023/10/02	2023/

右クリック

作業開始

工事情報...

工事内容...

電子納品要領・基準案の選択...

1-5 工事データを開く/閉じる

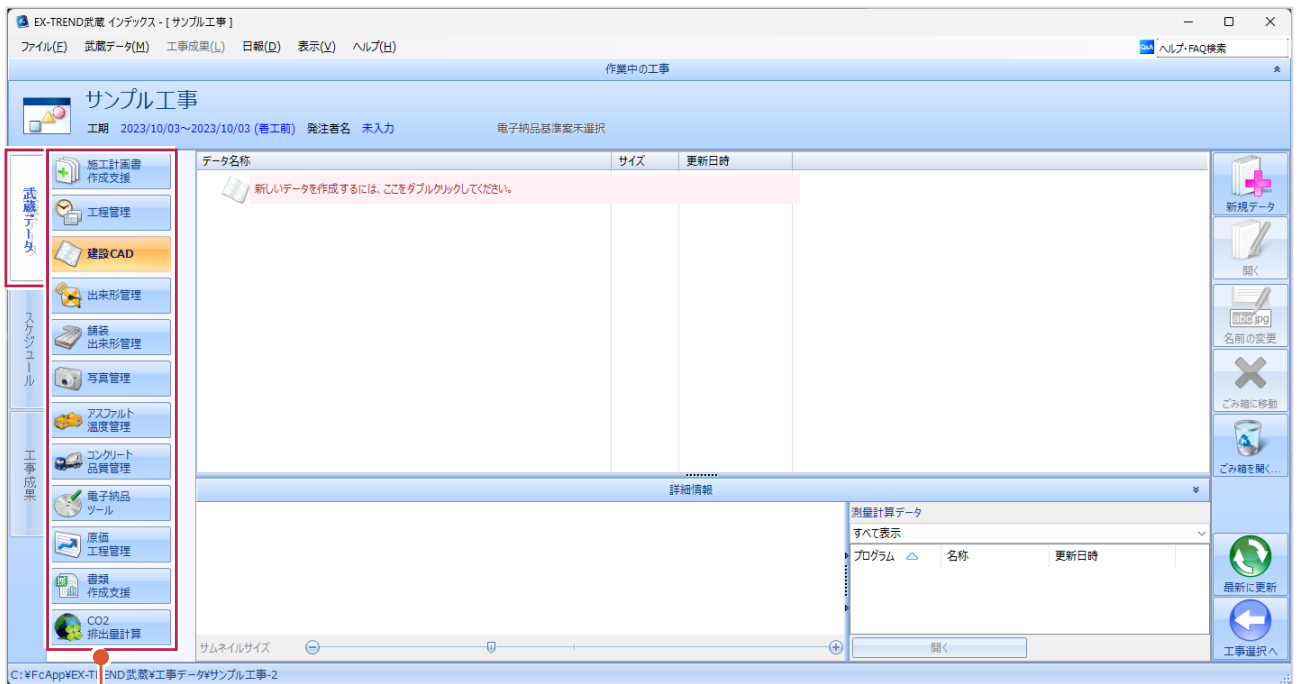
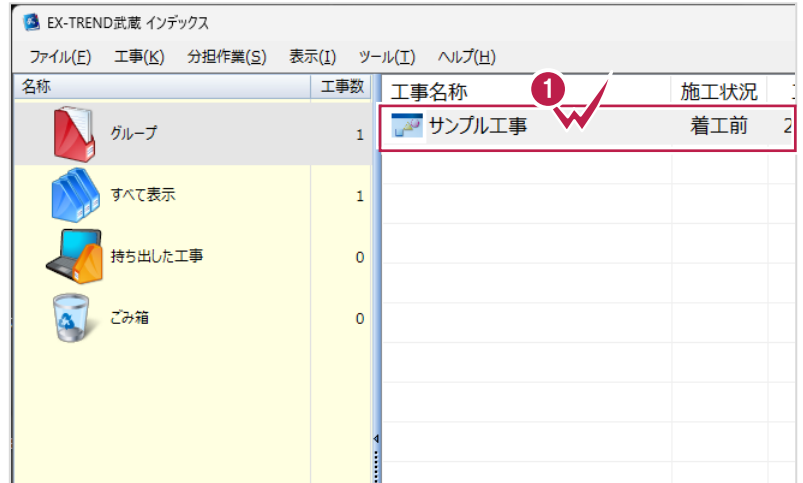
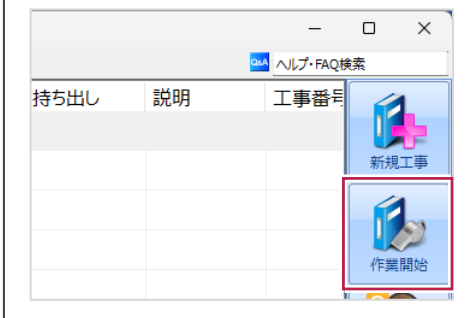
工事データを開く/閉じる操作を説明します。


■ 工事データを開く

工事データを開き、武蔵データ画面を表示します。

- 1 工事データをダブルクリックします。
武蔵データ画面が表示されます。

工事データを選択し、[作業開始]をクリックして開くこともできます。

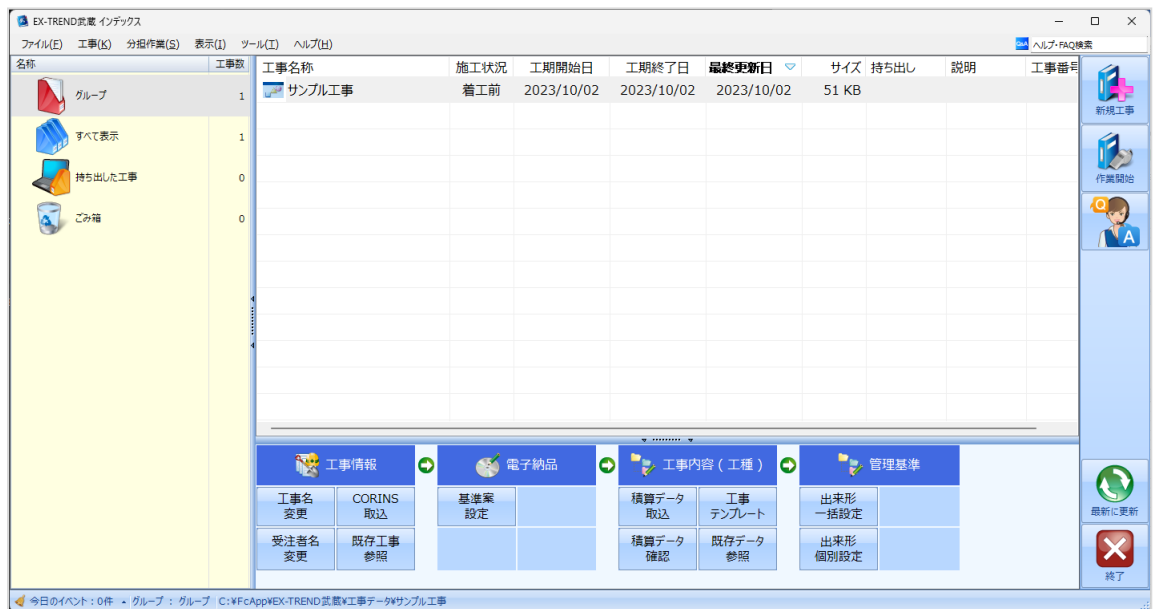
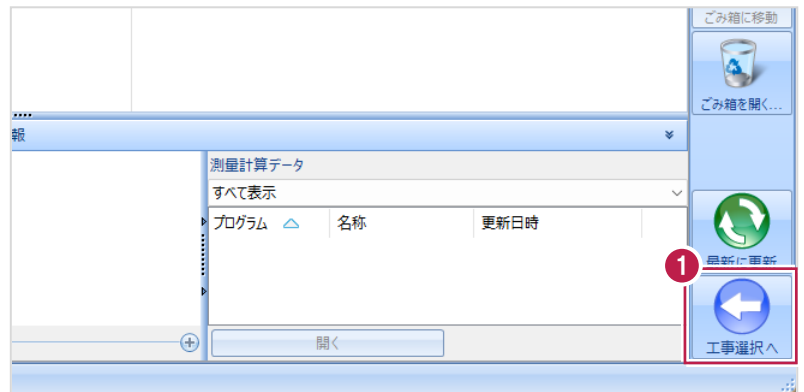


画面左側に武蔵データのアプリケーション一覧が表示されます。
購入していないアプリケーションには
進入禁止マーク  が表示されます。

■ 工事データを閉じる

工事データを閉じて、工事選択画面に戻ります。

- ① 画面右下の「工事選択へ」をクリックします。
工事選択画面に戻ります。



1-6 工事データのバックアップ/リストア

コンピューターも他の電化製品と同じように故障する場合があります。

また、些細なミスでデータを削除してしまうことも考えられます。

バックアップとは、工事データや設定ファイルを別のメディア（HDD、CD、DVDなど）に保存することです。

使用中のコンピューターのHDDなどにバックアップすることは、本来の意味のバックアップとは言えません。

※CDやDVDには直接バックアップできません。HDDの別の領域にバックアップ後、ライティングソフトなどでコピーしてください。

お客様が作成したデータは、お客様にとって大切な財産です。

万が一の不慮の事故による被害を最小限にとどめるために、お客様ご自身の管理・責任において、データは必ず2ヶ所以上の別のメディア（HDD、CD、DVDなど）に定期的にバックアップとして保存してください。

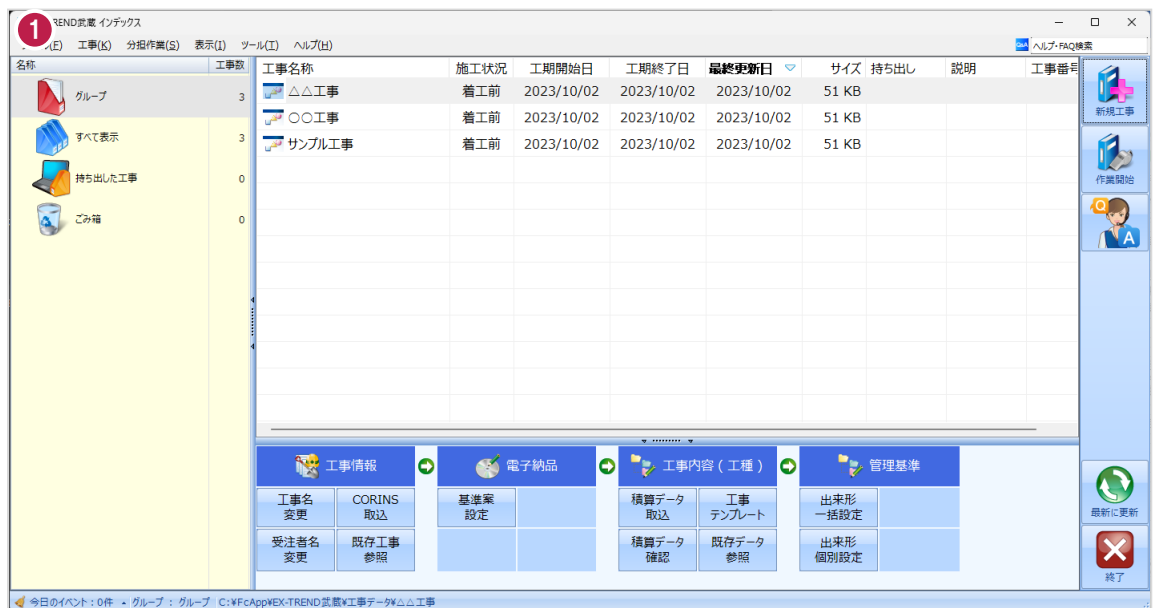
※いかなる事由においても、データの破損などによるお客様の損害は、弊社では補償いたしかねますのでご了承ください。

ここでは、インデックスで管理している複数の工事データを一括バックアップする操作と、バックアップしたデータをリストア（復元）する操作を説明します。

■ 工事データをバックアップする

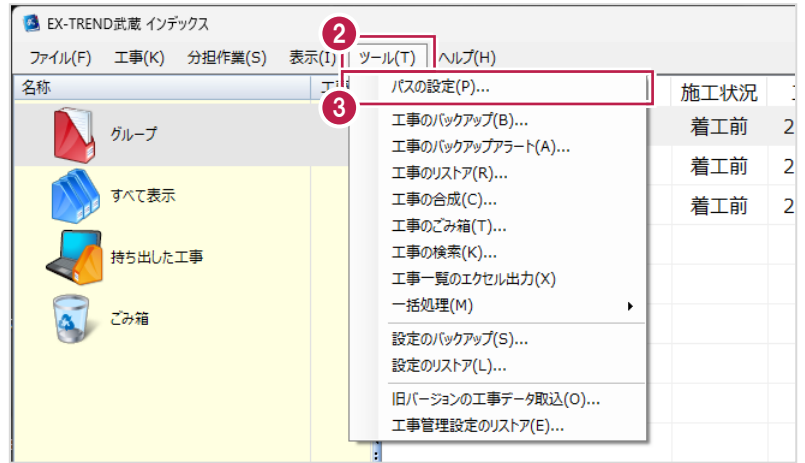
バックアップデータの保存先を確認して、工事データを一括バックアップします。

- 1 EX-TREND 武蔵の関連プログラムを全て終了し、インデックスを起動します。



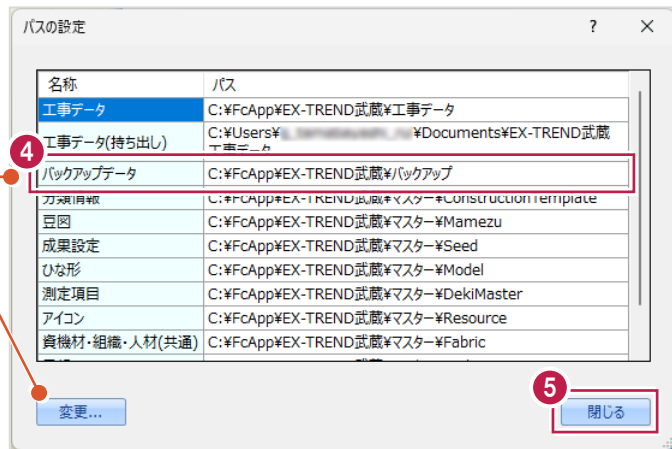
2 メニューバーの [ツール] をクリックします。

3 [パスの設定] をクリックします。



4 バックアップデータの保存先を確認します。

保存先を変更する場合は、
[バックアップデータ] を選択し
[変更] をクリックして
フォルダーを指定してください。

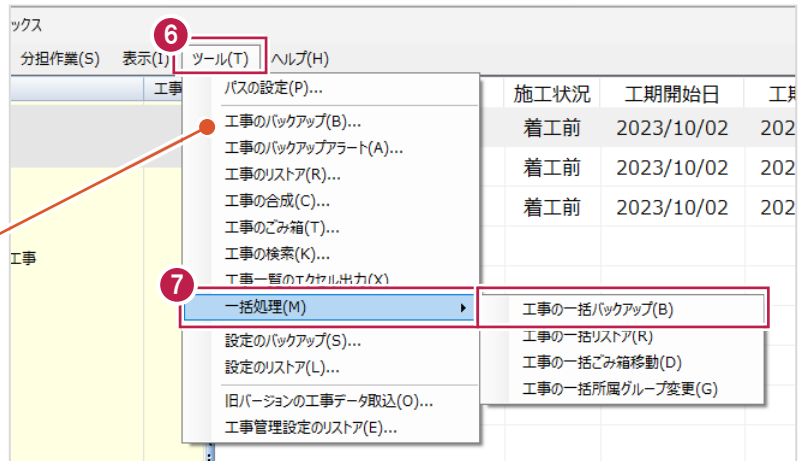


5 [閉じる] をクリックします。

6 メニューバーの [ツール] をクリックします。

7 [一括処理] - [工事の一括バックアップ] を
クリックします。

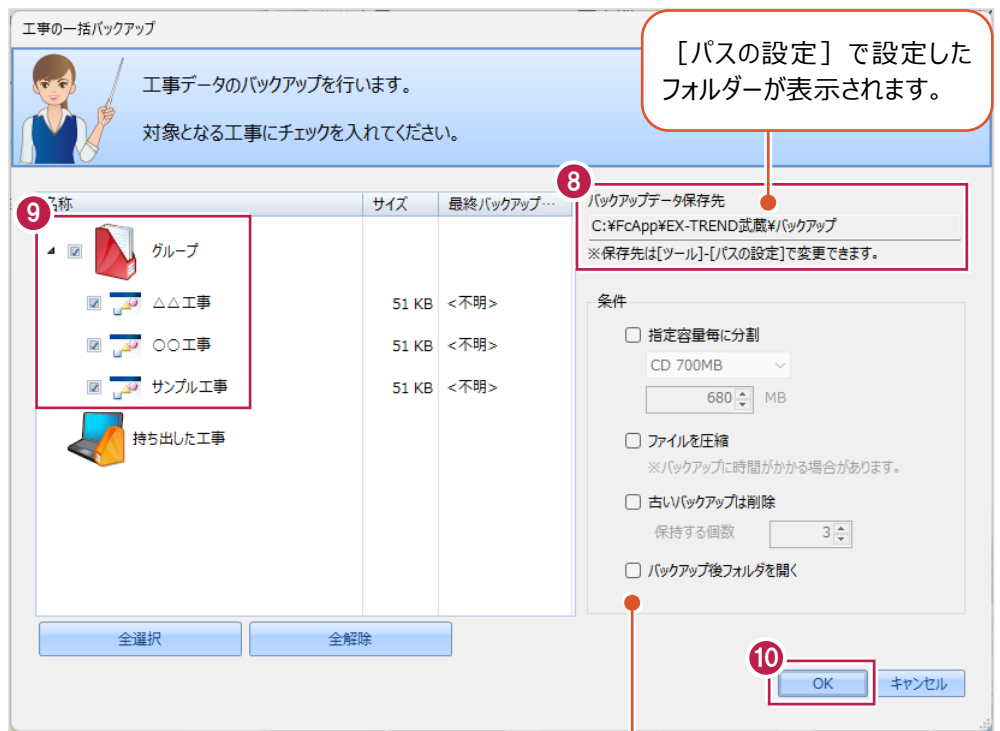
個別にバックアップする場合は、
工事一覧で工事を選択し、
[ツール] - [工事のバックアップ] を
行ってください。



8 [バックアップデータ保存先] を確認します。

9 バックアップする工事をオンにします。

10 [OK] をクリックします。



【指定容量毎に分割】

CDなどのメディアの容量に合わせて、分割保存する場合に使用します。

【ファイルを圧縮】

圧縮してバックアップサイズ（容量）を小さくする場合に使用します。

※写真データが多い場合は圧縮してもデータのサイズはあまり変わりません。

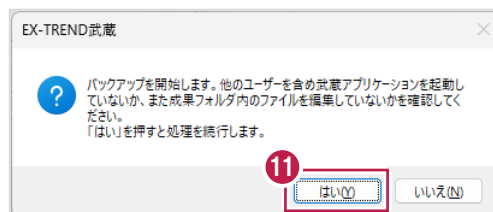
【古いバックアップは削除】

同一フォルダへ保管しておくバックアップ数を指定します。

【バックアップ後フォルダを開く】

バックアップ完了後に保存先のフォルダを開く場合はオンにします。

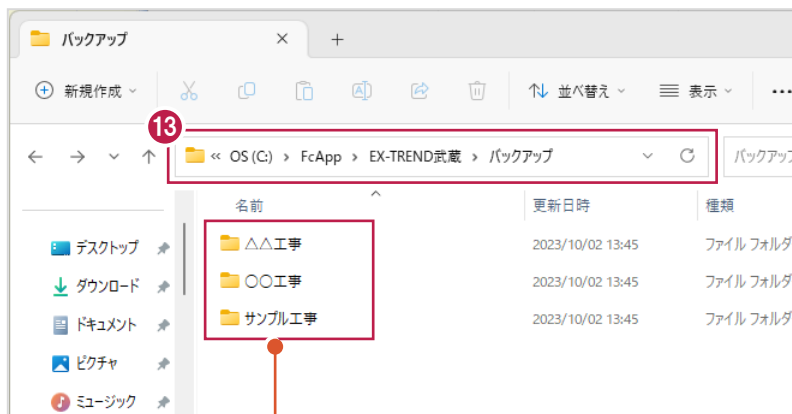
11 [はい] をクリックします。



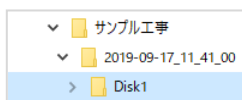
12 [OK] をクリックします。



- 13 バックアップデータ保存先に、工事データが保存されます。

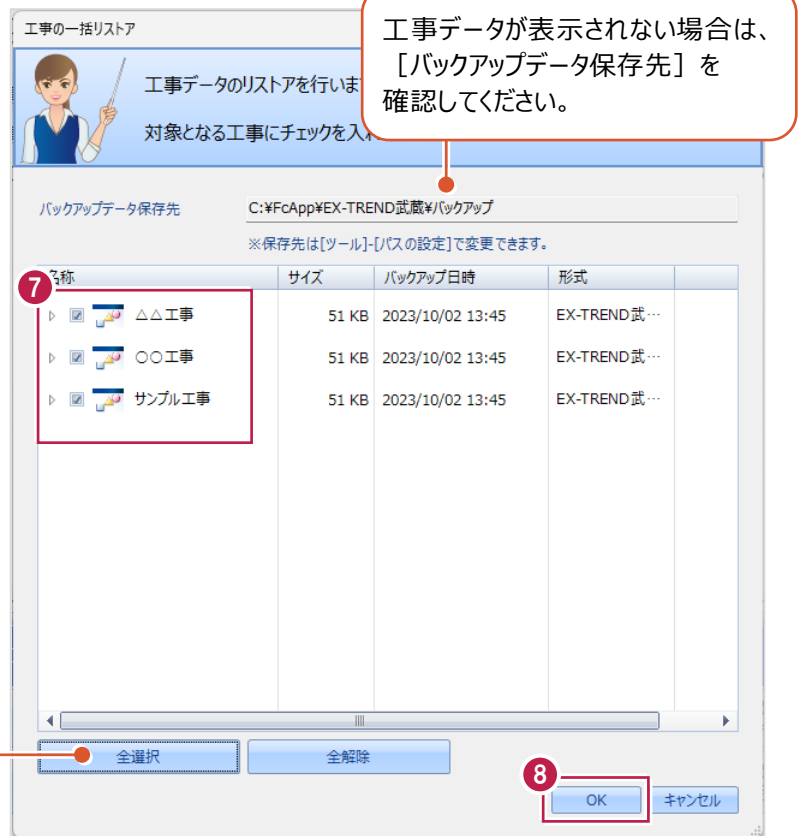


工事のバックアップデータは、[工事名称] - [年月日時分秒] - [Disk1] フォルダに保存されます。



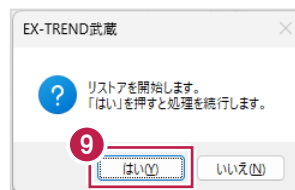
7 取り込む工事データをオンにします。

8 [OK] をクリックします。



全てオンにする場合は、
[全選択] をクリックしてください。

9 [はい] をクリックします。



10 [OK] をクリックします。
工事データが復元されます。



1-7 各種設定のバックアップ/リストア

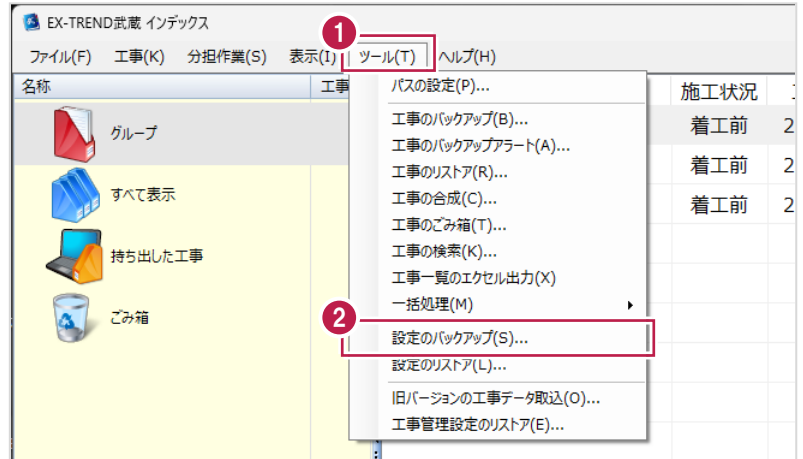
EX-TREND武蔵関連プログラムで使用する共通設定や辞書などをバックアップする操作と、バックアップしたデータをリストア（復元）する操作を説明します。

■ 設定データをバックアップする

設定データをバックアップします。

① メニューバーの [ツール] をクリックします。

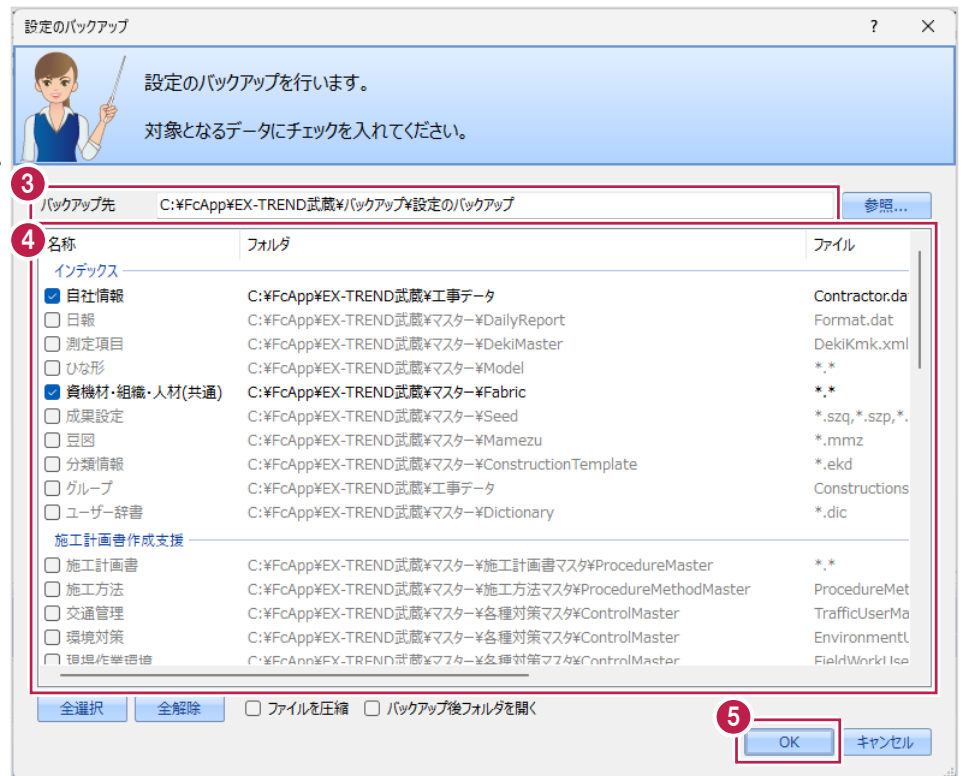
② [設定のバックアップ] をクリックします。



③ バックアップ先を確認します。

④ バックアップする設定をオンにします。

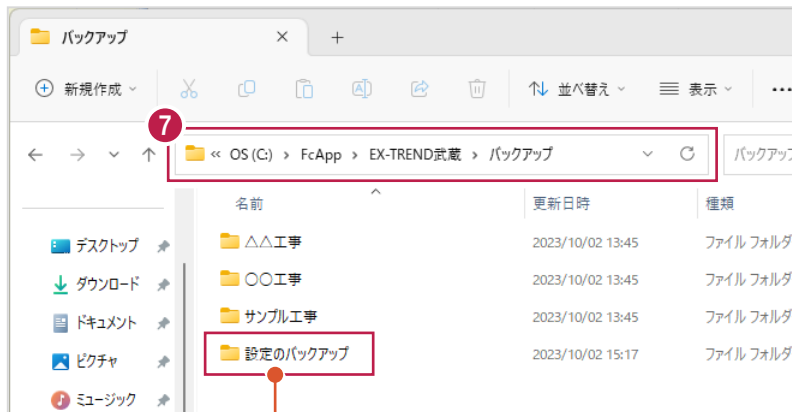
⑤ [OK] をクリックします。



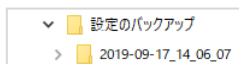
6 [OK] をクリックします。



7 バックアップ先に設定データが保存されます。



設定のバックアップデータは、[設定のバックアップ] – [年月日時分秒] フォルダに保存されます。

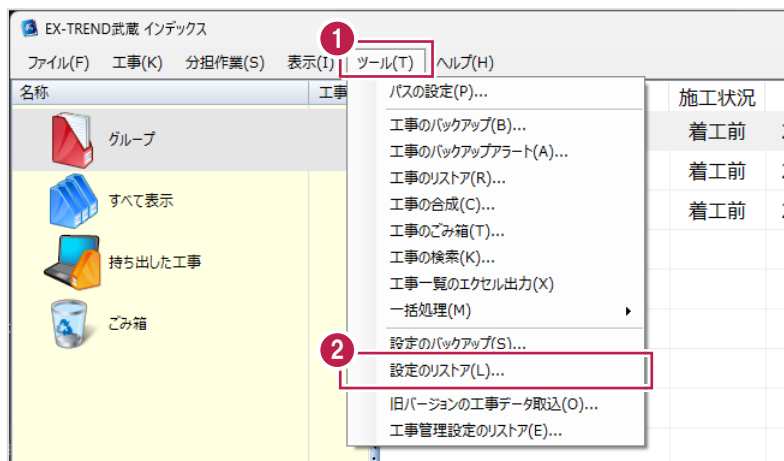


■ 設定データをリストア（復元）する

設定データをリストアします。

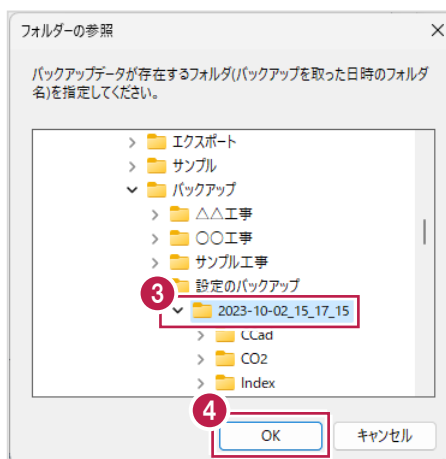
① メニューバーの [ツール] をクリックします。

② [設定のリストア] をクリックします。



③ バックアップした設定データが存在するフォルダーを選択します。

④ [OK] をクリックします。



5 取り込む設定データをオンにします。

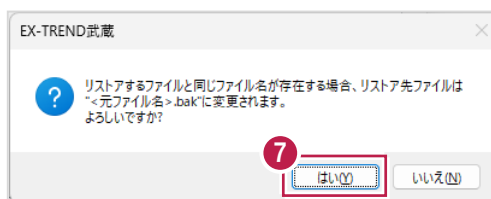
6 [OK] をクリックします。



全てオンにする場合は、
[全選択] をクリックして
ください。

7 確認メッセージが表示された場合は、
[はい] をクリックします。

※リストア先に同名のファイルが存在する
場合に表示されます。



8 [OK] をクリックします。



1-8 資機材・組織・人材マスタの登録

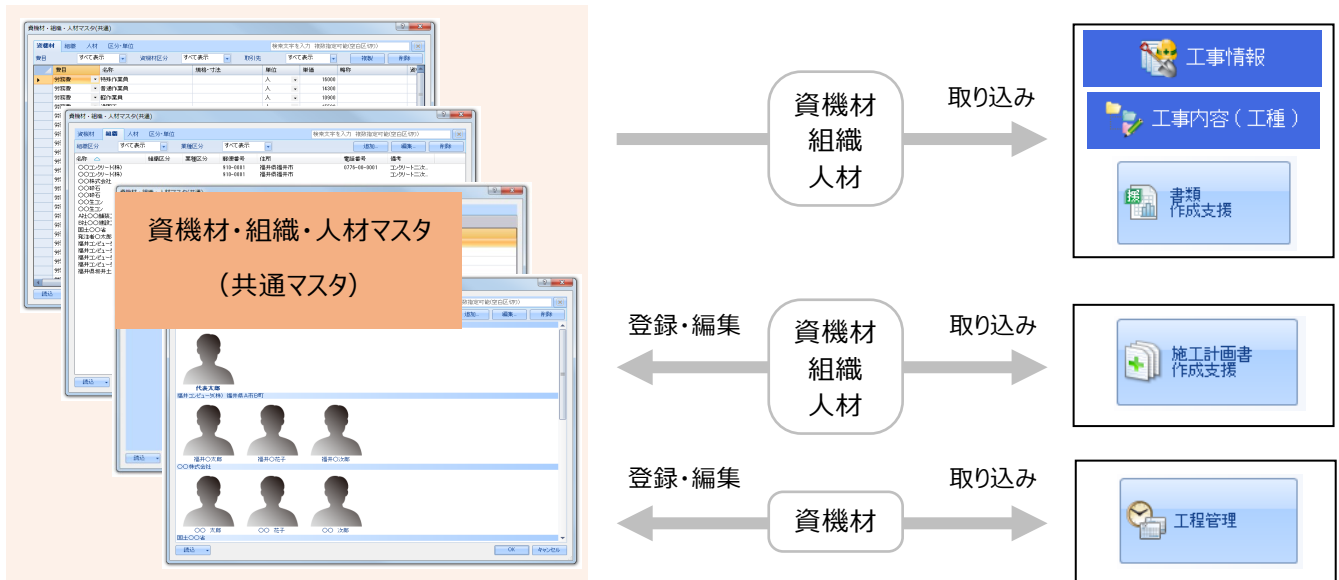
よく使用する情報は、資機材・組織・人材マスタに登録しておくことで、入力時の手間が軽減できます。

マスタは、EX-TREND武蔵関連プログラムの共通の情報として保持されます。

マスタに登録した情報は、インデックス（工事情報、工事内容、書類作成支援）、施工計画書作成支援、工程管理で使用できます。

施工体制台帳や連絡先一覧、現場組織表などの作成に有用です。

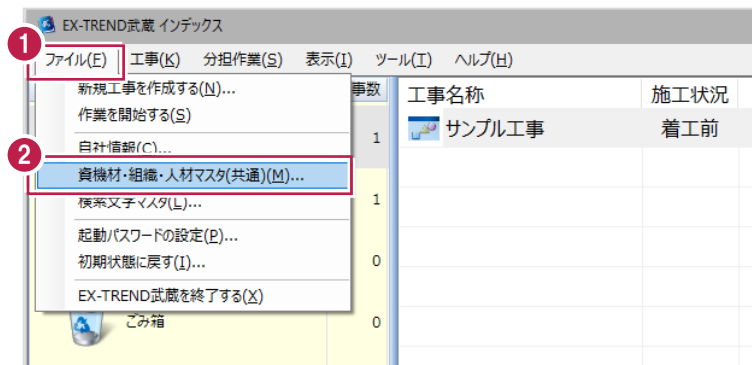
マスタの編集は、施工計画書作成支援や工程管理でも可能です。



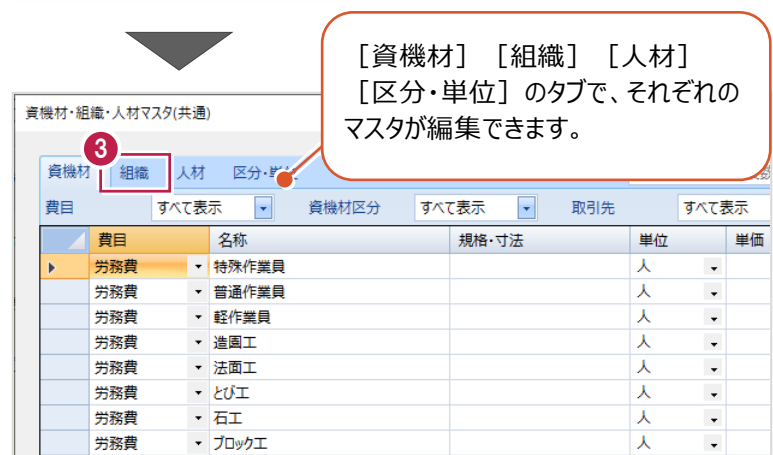
ここでは、[資機材・組織・人材マスタ（共通）] で、自社の情報を組織マスタに登録する操作を説明します。

① メニューバーの [ファイル] をクリックします。

② [資機材・組織・人材マスタ（共通）] をクリックします。



③ [組織] タブをクリックします。



- 4 一覧で、会社名を選択します。

メニューバーの [ファイル] - [自社情報] で入力した情報が一覧に表示されます。
入力していない（一覧にない）場合は [追加] をクリックしてください。



- 5 [編集] をクリックします。

- 6 [組織区分] の「▼」をクリックし、区分を選択します。

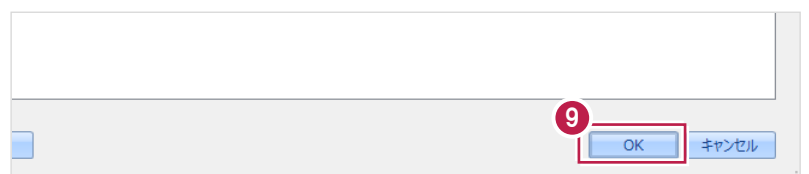
- 7 [OK] をクリックします。



- 8 情報が更新されたことを確認します。



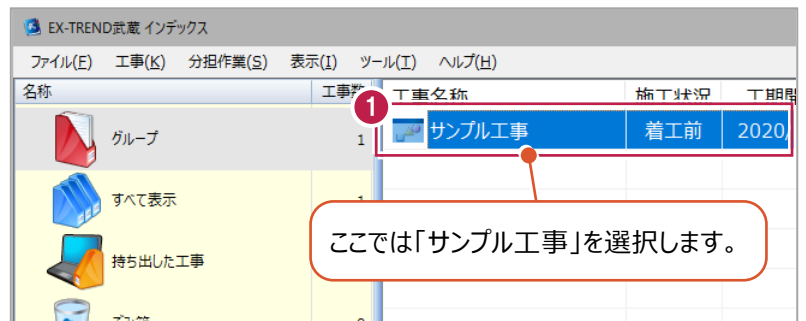
- 9 [OK] をクリックして、資機材・組織・人材マスタ（共通）ダイアログを閉じます。



1-9 積算データの取り込み

インデックスで積算データを取り込み、各プログラムに連動させます。
ここでは、既存の工事に積算データを取り込む操作を説明します。

- 1 工事一覧で、積算データを取り込む工事を
選択します。

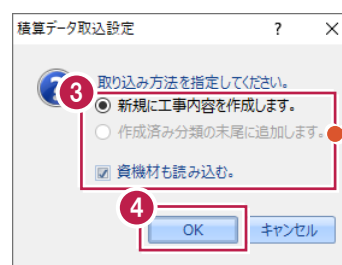


- 2 工事の編集パネルで、[積算データ取込] を
クリックします。



- 3 [新規に工事内容を作成します。] を選択し、
[資機材も読み込む。] をオンにします。

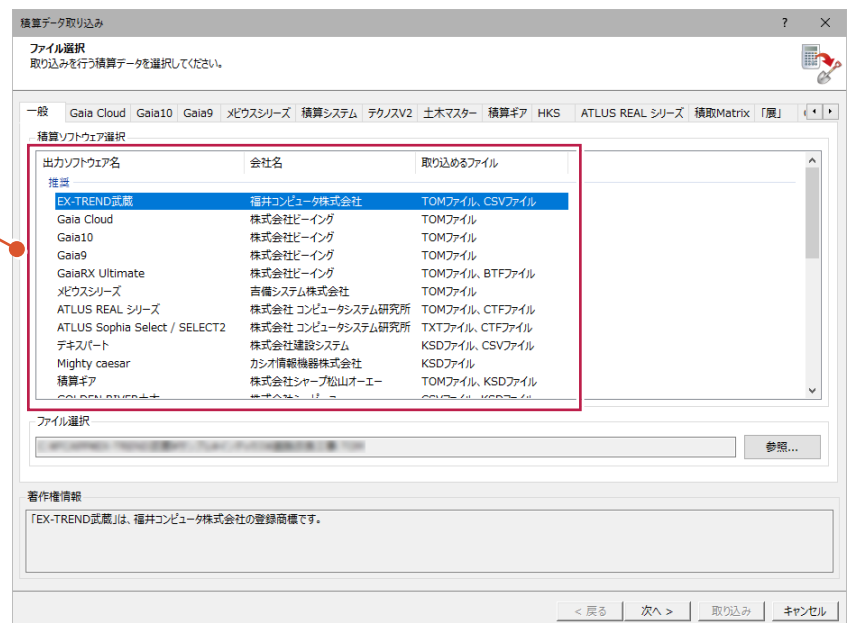
- 4 [OK] をクリックします。
積算データ取り込みダイアログが表示されます。



分類が既に登録されている場合、
① [新規に工事内容を作成します。] を選択すると、既存の分類は削除されます。注意してください。
② [作成済みの分類の末尾に追加します。] が選択できるようになります。

表示されているソフトウェアから出力した
データが取り込めます。

※ソフトウェアごとに、対応しているファイル
形式は異なります。詳細はヘルプを参照
してください。



- 5 積算データを作成したソフトウェアと、データファイルを指定します。

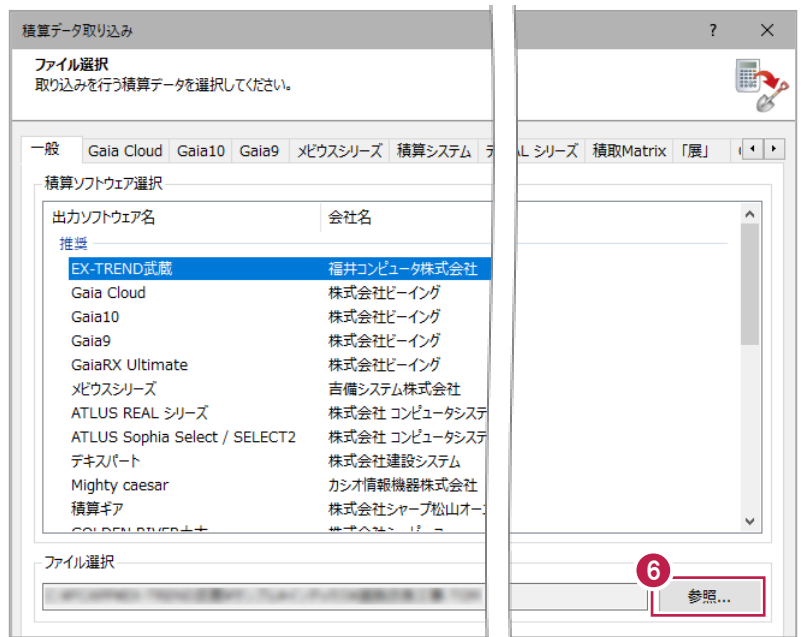
「出力ソフトウェア名」を選択します。

ここでは「EX-TREND 武蔵」を選択します。

※EX-TREND 武蔵からTOMファイルの出力はできません。



- 6 「ファイル選択」の「参照」をクリックします。



- 7 サンプルデータ「道路改良工事.TOM」を選択します。

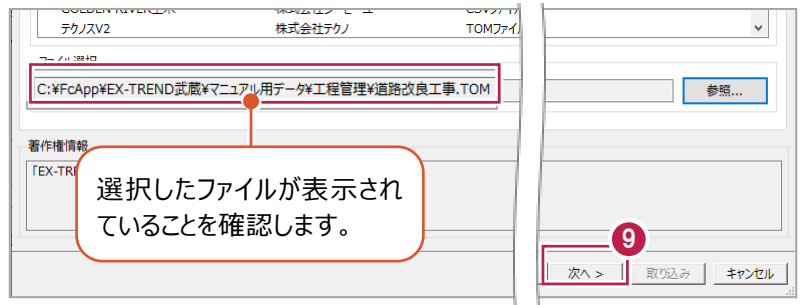
サンプルデータは以下のフォルダーに格納されています。

C:\¥FcApp¥EX-TREND武蔵¥
マニュアル用データ¥工程管理



- 8 「開く」をクリックします。

9 [次へ] をクリックします。



10 積算データが読み込まれます。

読み込んだ情報はツリー状に表示されます。

10



取り込む分類をオンにします。
必要に応じてツリーの階層を変更し、取り込む分類のみオンにします。

11 [取り込み] をクリックします。

積算データ取り込み時の注意点、分類の編集について

1.EX-TREND武蔵で読み込める分類は、工種、種別、細別、規格の4階層です。

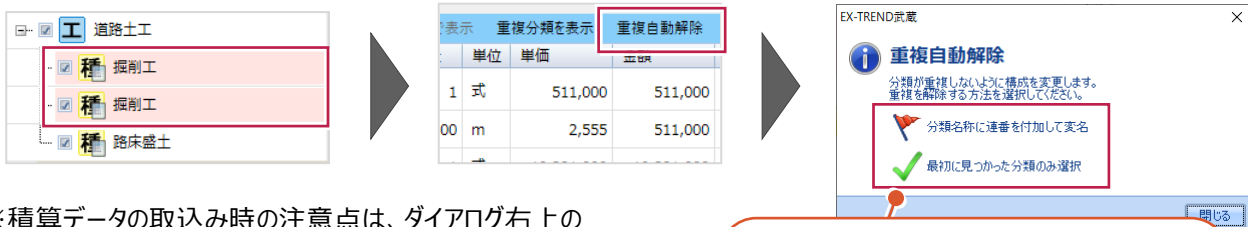
[工種] の階層に工事名や費目など、管理に不要な階層が含まれていればその階層を選択し、[削除+繰り上げ] をクリックして階層を1つつ上に移動します。



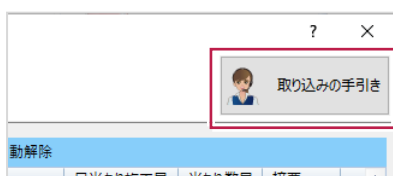
2.EX-TREND 武蔵では、同じ階層には同じ名称の分類を配置できないため、取り込み時に名称を変更する必要があります。

重複する分類はピンク色で表示されます。分類名を変更するか、重複する分類は取り込まないようにします。

[重複自動解除] を使用すると、分類名をまとめて変更できます。

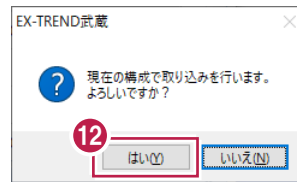


※積算データの取込み時の注意点は、ダイアログ右上の[取り込みの手引き] から参照できます。



【分類名称に連番を付加して変名】 :
2つ目以降の同一分類名に「-1」「-2」と連番を付加して取り込みます。
【最初に見つかった分類のみ選択】 :
1つ目の分類のみ取り込みます。

12 [はい] をクリックします。



13 積算データが取り込まれます。

取り込んだ分類や資機材の構成や情報は、このダイアログで編集できます。

分類の編集

追加 上へ

変更 下へ

削除

資機材の編集

追加 変更

削除 使用材一覧

14 [OK] をクリックします。

資機材マークが付いている分類を選択すると、分類に登録されている資機材の情報が表示されます。

名称	規格・寸法	数量	単位
タンブトラック(込)	10t	20	台
バックホウ	0.5m3	20	台
運転手(特殊)		20	人
軽油		2000	l
交通誘導員		20	人
土木一般世話役		10	人
普通作業員		30	人

2

施工計画書の作成

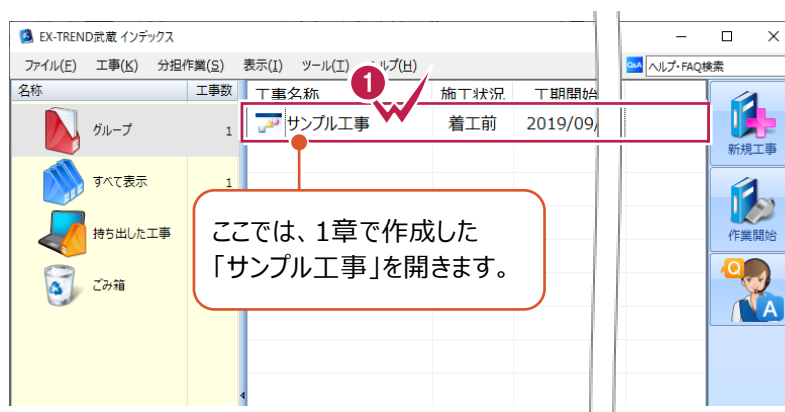
施工計画書作成支援を起動し施工計画書を作成・編集・出力する操作を説明します。

2-1 施工計画書作成支援の起動

工事データを開き、施工計画書作成支援を起動します。

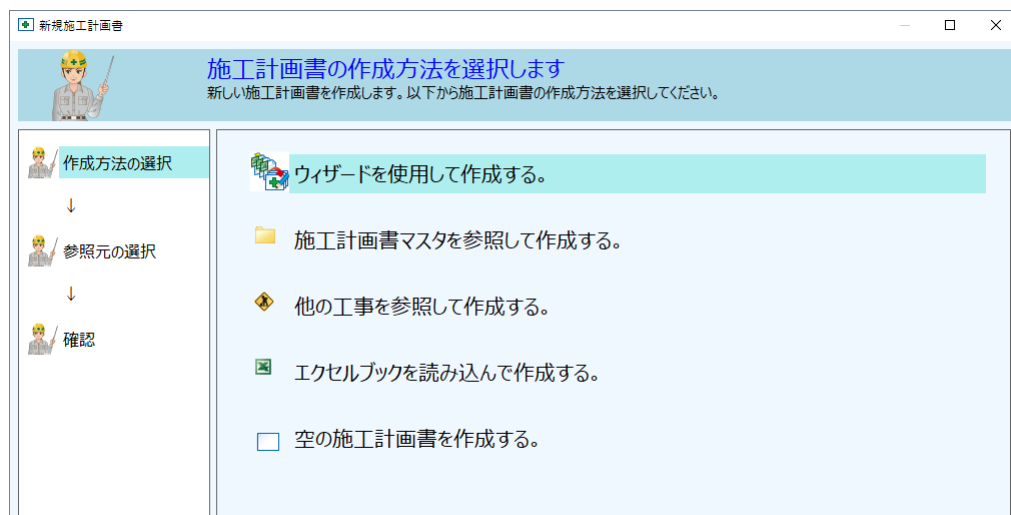
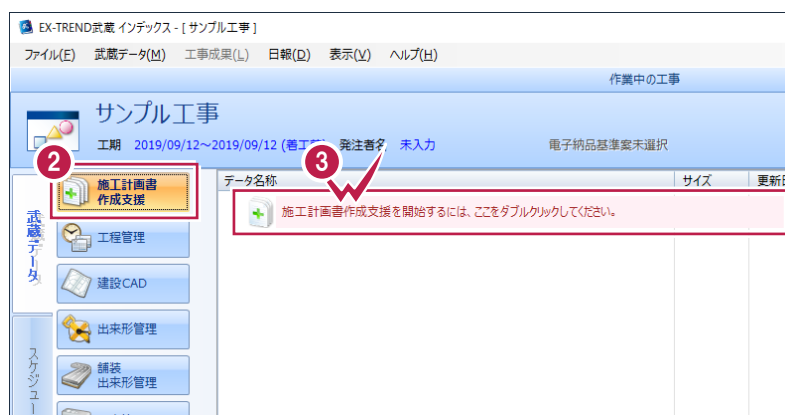
ここでは、1章で作成した積算取り込み後の工事データを使用して操作を説明します。

① 作業を行う工事データをダブルクリックします。



② 画面左側で「施工計画書作成支援」をクリックします。

③ データ一覧の「施工計画書作成支援を開始するには、ここをダブルクリックしてください。」をダブルクリックします。

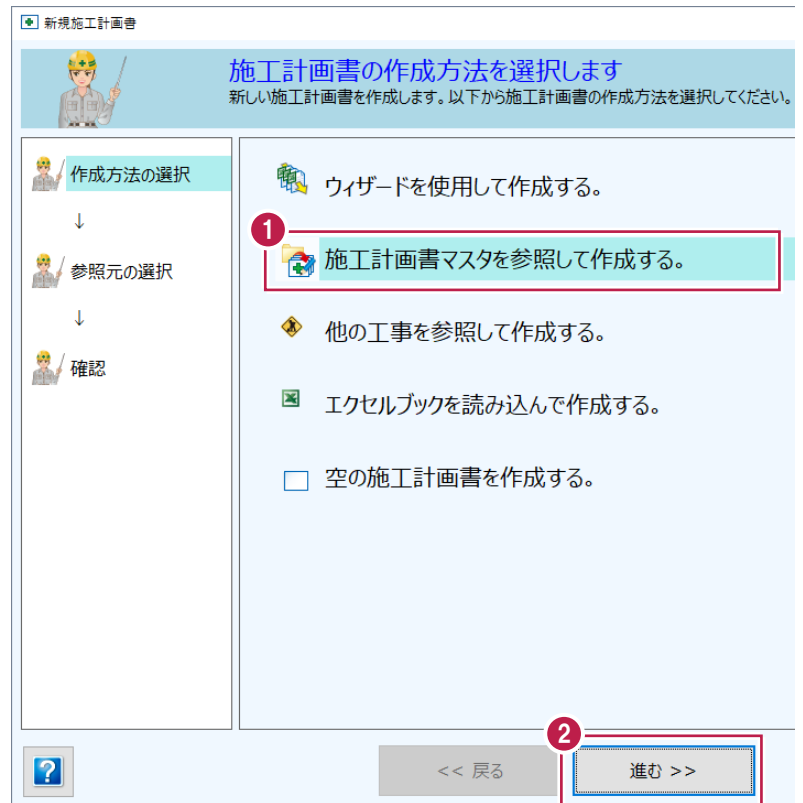


2-2 新規施工計画書の作成

新規施工計画書ダイアログで作成方法を選択し作業を進めます。

ここでは施工計画書マスタ「国土交通省（NETIS）」を参照して作成する方法を説明します。

- 1 [施工計画書マスタを参照して作成する。] をクリックします。



- 2 [進む] をクリックします

- 3 参照するマスタ、ここでは「国土交通省（NETIS）」を選択します。

- 4 [進む] をクリックします。



- 5 作成方法、参照元を確認して「完了」をクリックします。

新規施工計画書

施工計画書の作成確認をします

以下のとおり施工計画書を作成してよいか、確認してください。

作成方法の選択
↓
参照元の選択
↓
確認

作成方法の選択
作成方法 「施工計画書マスタを参照して作成する」

参照元の選択
施工計画書マスタ 国土交通省(NETIS)

以上の情報で施工計画書を作成します。
よろしければ「完了」ボタンを押してください。

5 完了

- 6 引き続き工事内容を編集するため、「はい」をクリックします。

施工計画書作成支援

施工計画書の作成が完了しました。
引き続き、工事内容を編集しますか？

6 はい(Y) いいえ(N)

2-3 工事内容の作成

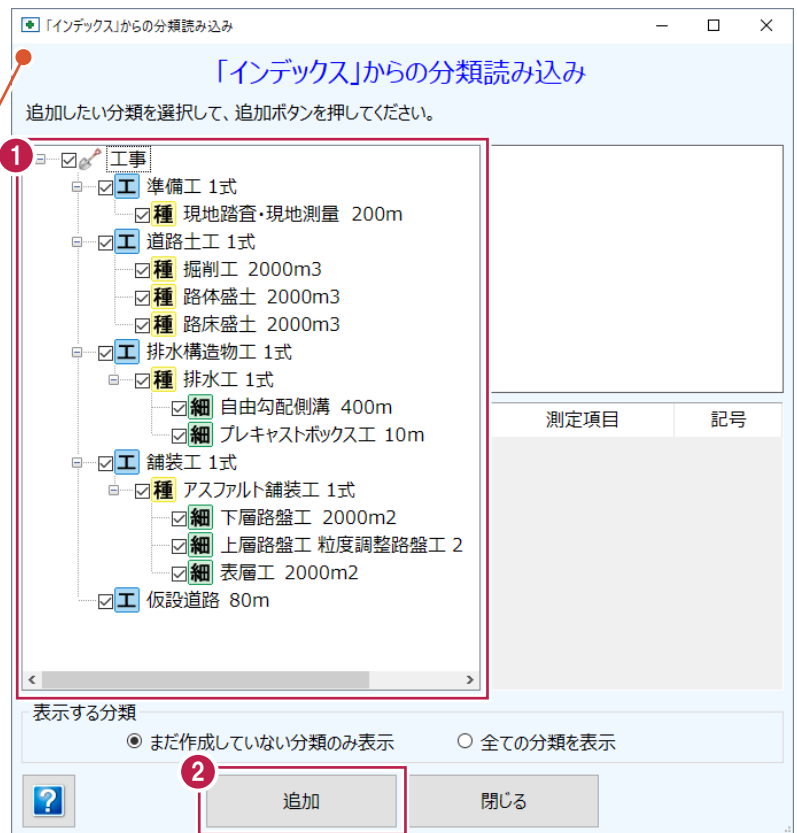
インデックスからの分類を読み込んで工事内容を作成する操作を説明します。

- 1 施工計画書の工事内容に記載する工種を選択します。

ここでは全ての工種を使用するため、「工事」をオンにします。

- 2 [追加] をクリックします。

インデックスで積算データ取り込みを行った場合、「インデックス」からの分類読み込みダイアログが表示されます。



- 3 再度「インデックス」からの分類読み込みダイアログが表示されるため、「閉じる」をクリックします。



2-4 施工管理計画の設定

出来形・写真・品質管理基準の設定方法について説明します。

■ 出来形管理基準の設定（掘削工）

- 1 出来形管理基準の対象となる分類を選択します。

ここでは「種別：掘削工」をオンにし、「出」のマークを表示します。

- 2 「出来形管理基準」をクリックします。

測定項目条件設定ダイアログが表示されます。

名称	数量	単位	管理
工事			
準備工	1	式	
種 現地踏査・現地測量	200	m	
道路十丁	1	式	
種出 掘削工	2000	m3	
種 路体盛土	2000	m3	
種 路床盛土	2000	m3	
排水構築物工	1	式	
種 排水工	1	式	
細 自由勾配側溝	400	m	
細 プレキャストボックス工	10	m	
舗装工	1	式	
種 アスファルト舗装工	1	式	
細 下層路盤工	2000	m2	
細 上層路盤工 粒度調整路盤工	2000	m2	
細 表層工	2000	m2	
仮設道路	80	m	

- 3 「分類情報」をクリックします。

選択した分類名が、グループ・工種に表示されます。

- 4 「測定項目条件」をクリックします。

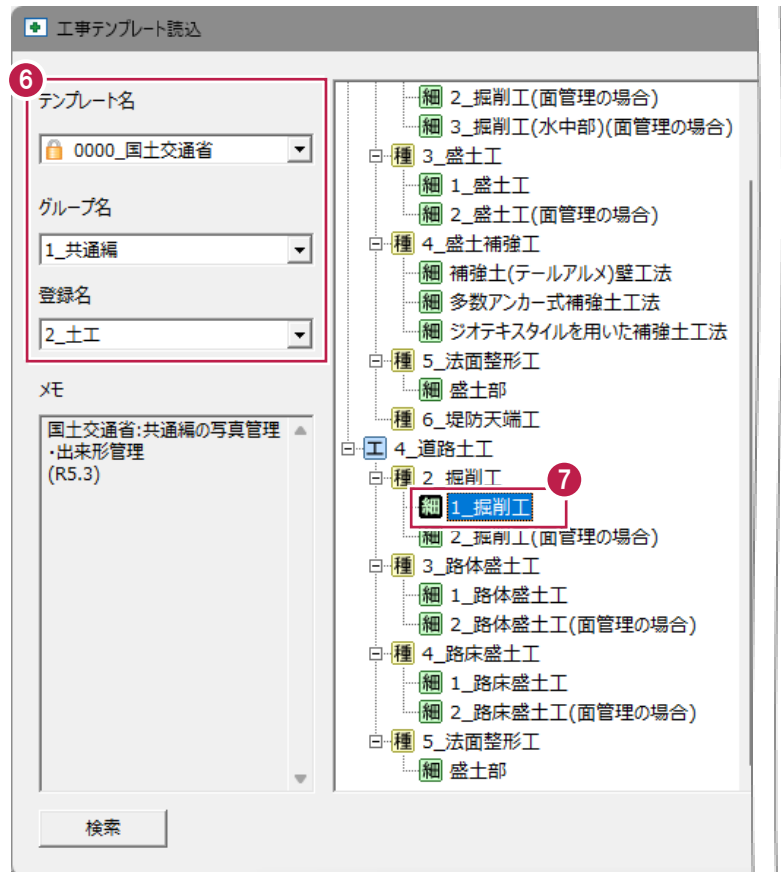
- 5 「他工種」をクリックします。

①上の「分
「測定項
左の【進
「測定項

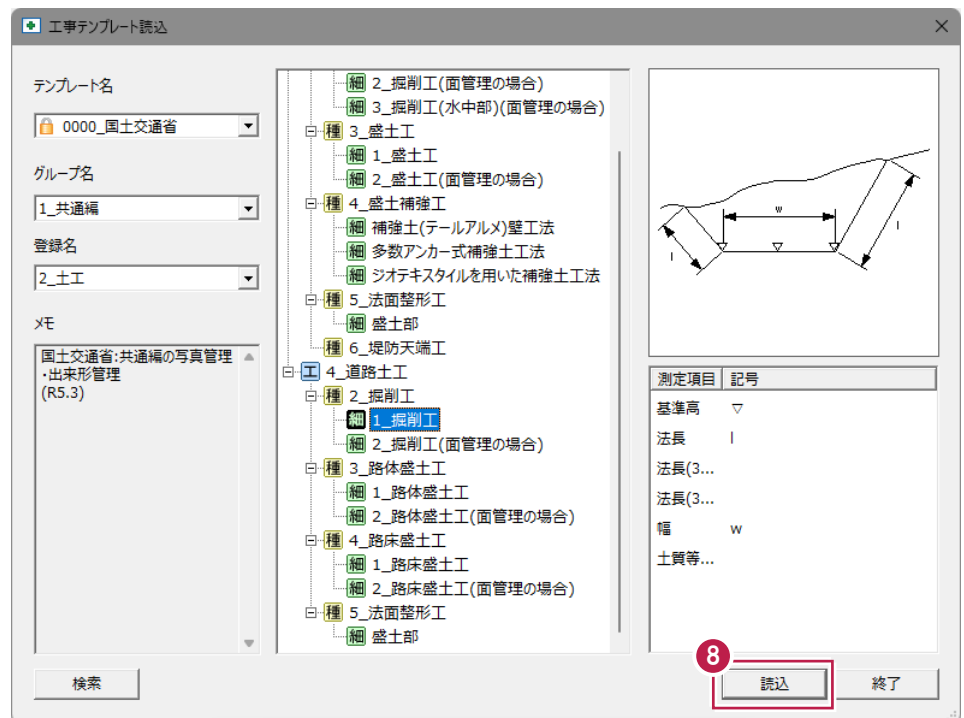
6 以下のように設定します。

[テンプレート名] : 0000_国土交通省
[グループ名] : 1_共通編
[登録名] : 2_土工

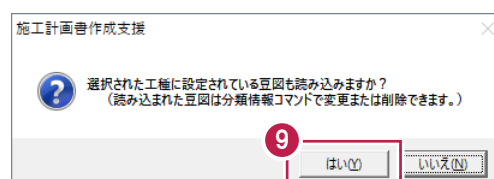
7 分類ツリーから、[工種 : 4_道路土工] -
[種別 : 2_掘削工] - [細別 : 1_掘削工]
工] を選択します。

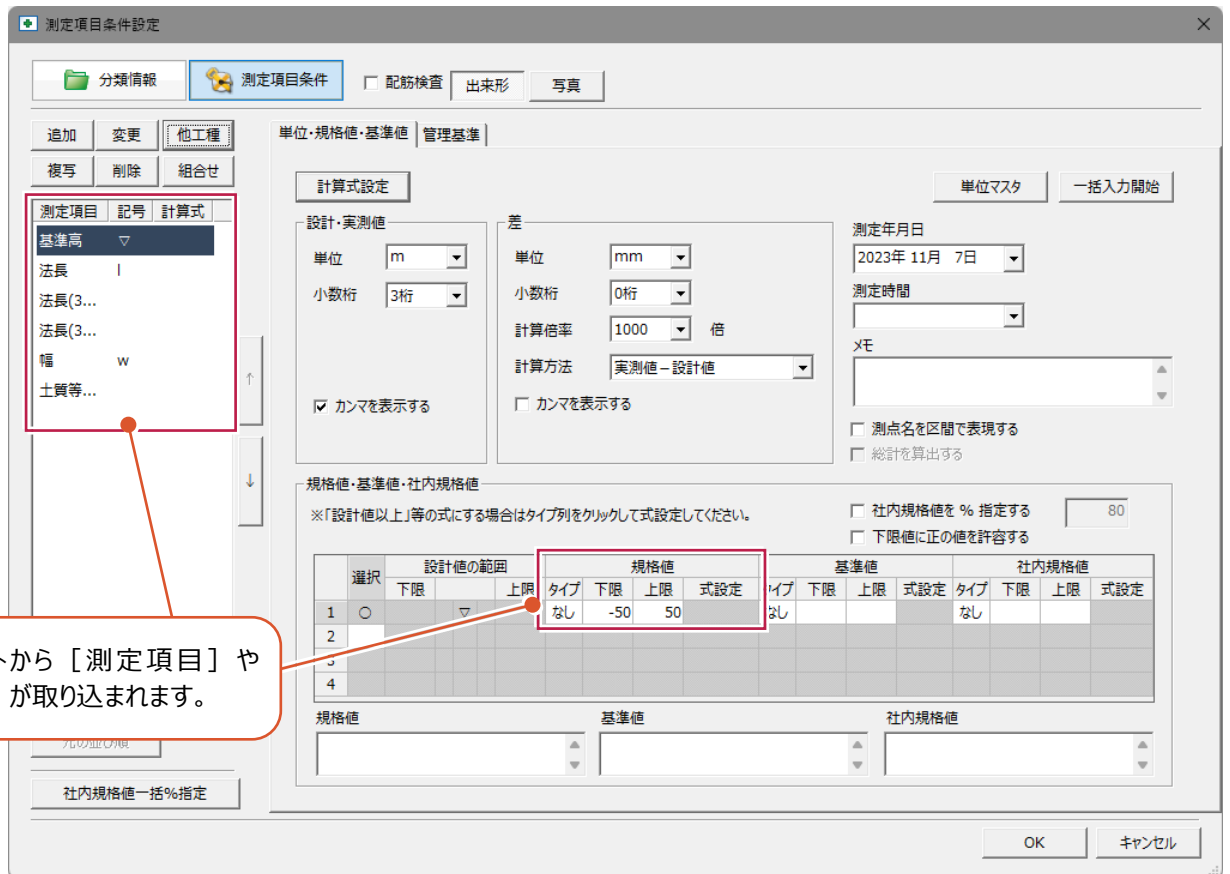


8 [読込] をクリックします。

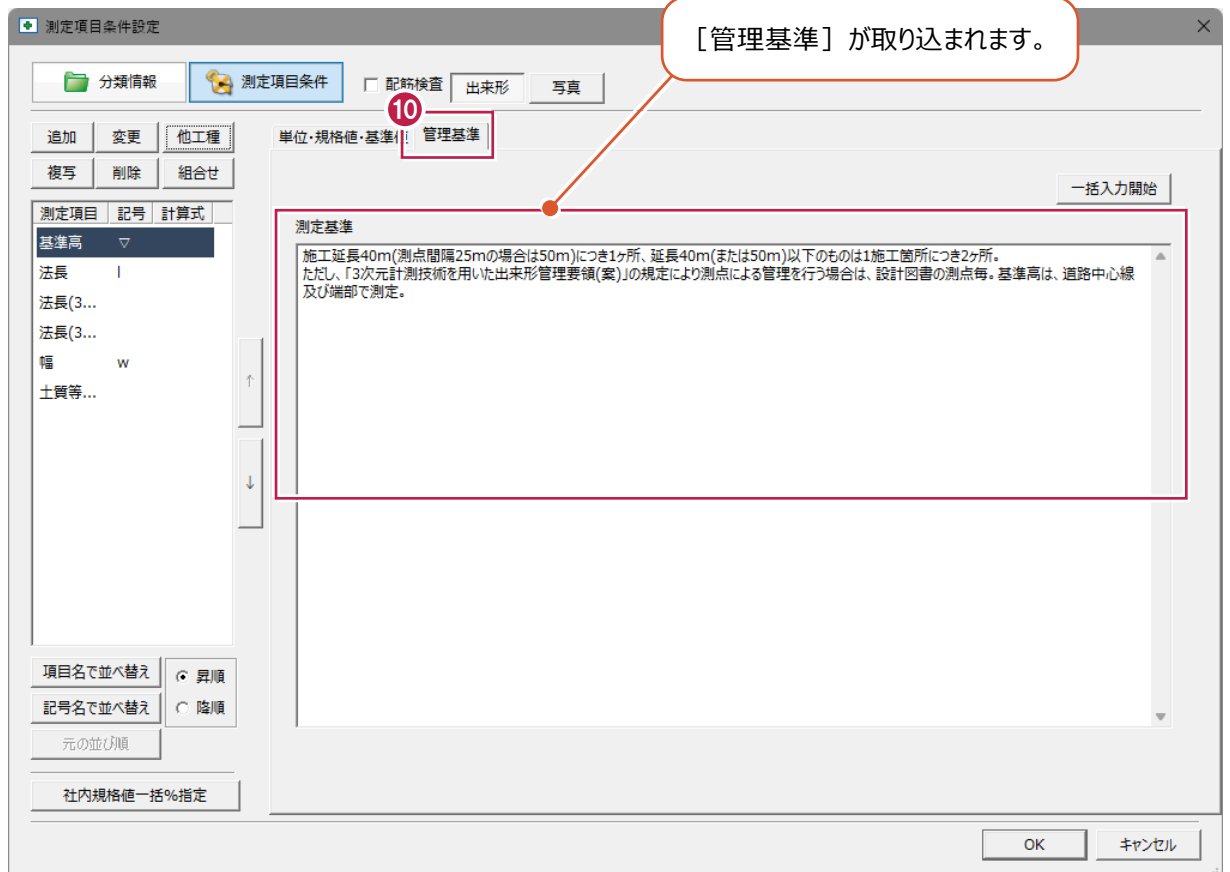


9 [はい] をクリックします。





⑩ [管理基準] タブをクリックします。



11 [写真] をクリックします。

12 [測定項目] - [法長] を選択します。

13 [OK] をクリックします。

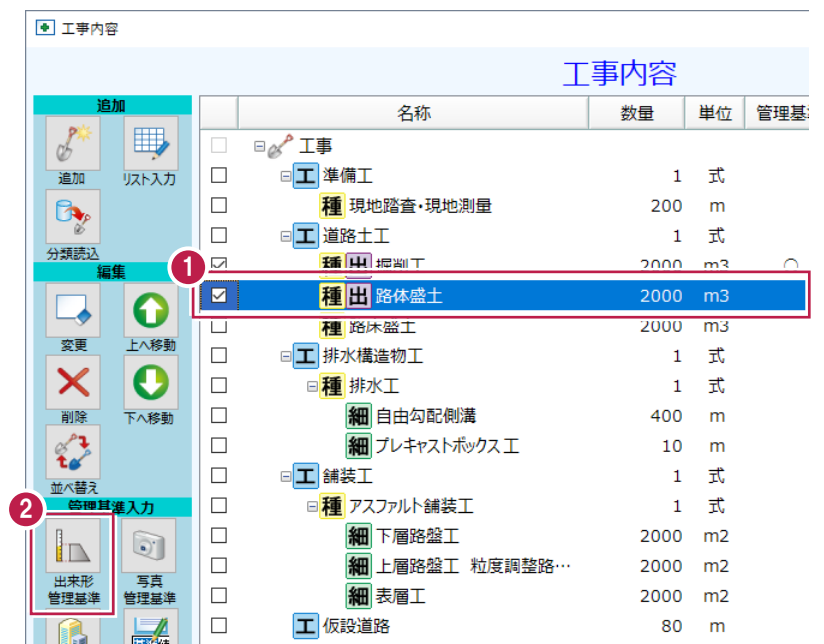


■ 出来形管理基準の設定（路体盛土）

1 出来形管理基準の対象となる分類を選択します。

ここでは「種別：路体盛土」をオンにし、
[出] のマークを表示します。

2 [出来形管理基準] をクリックします。



③ [他工種] をクリックします。



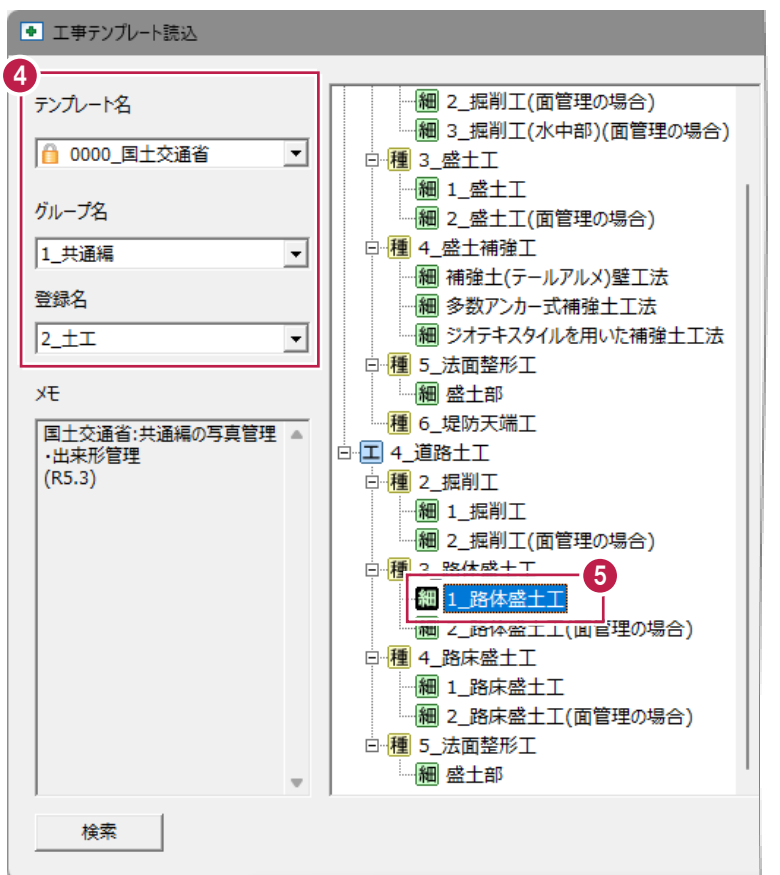
④ 以下のように設定します。

[テンプレート名] : 0000 国土交通省

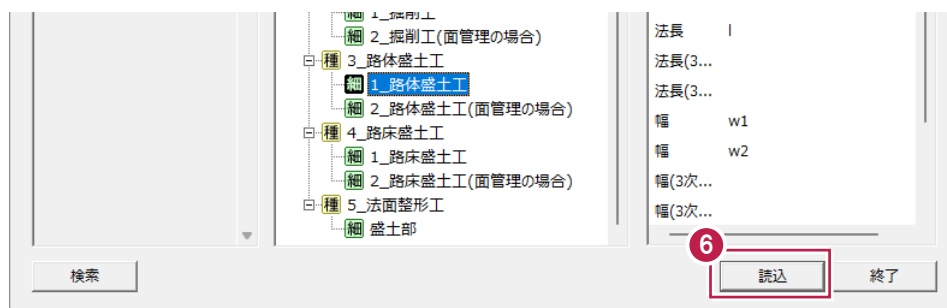
[グループ名] : 1_共通編

[登録名] : 2_土工

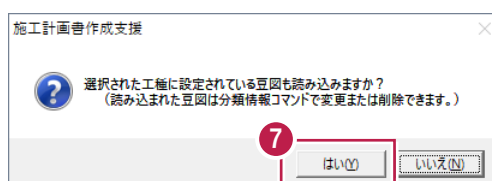
⑤ 分類ツリーから、[工種 : 4 道路土工] -
[種別 : 3 路体盛土] - [細別 : 1_路体盛土工] を選択します。

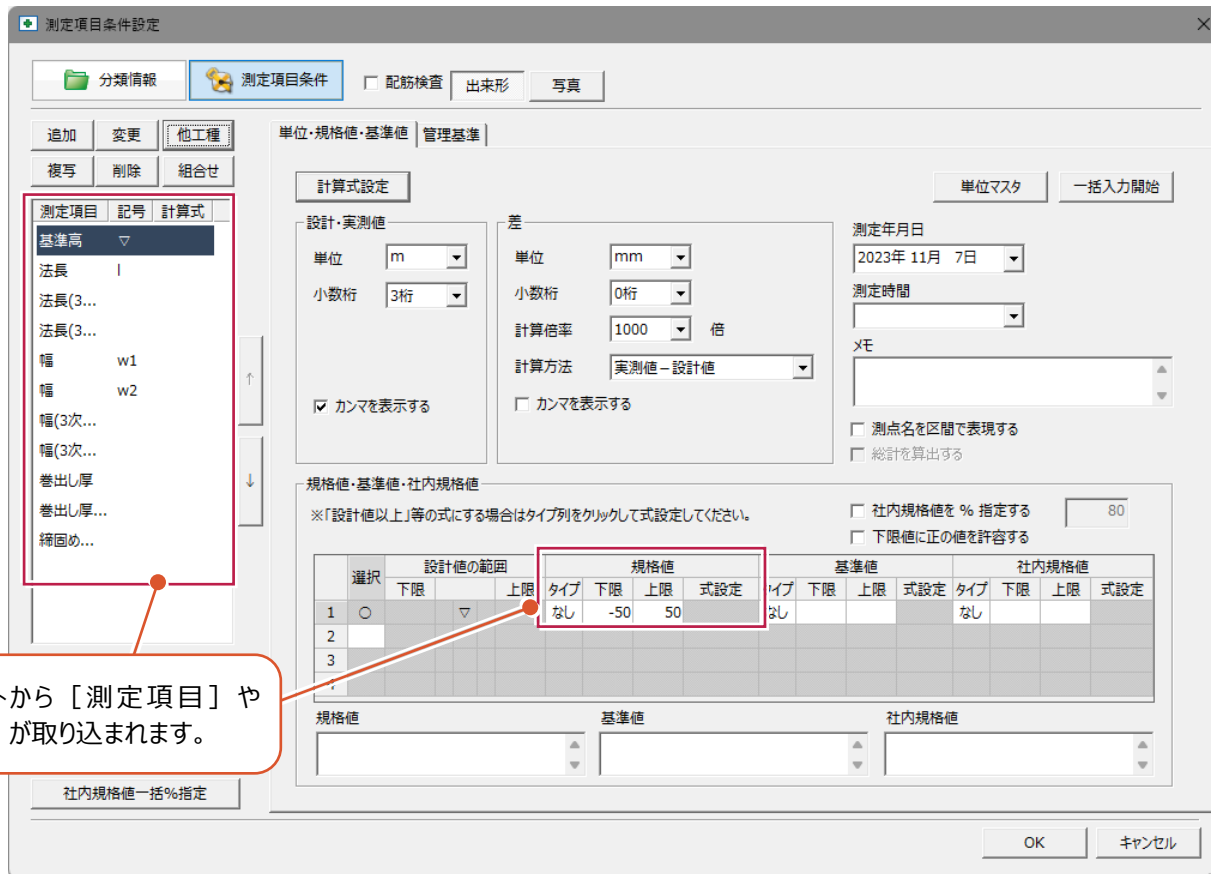


⑥ [読込] をクリックします。

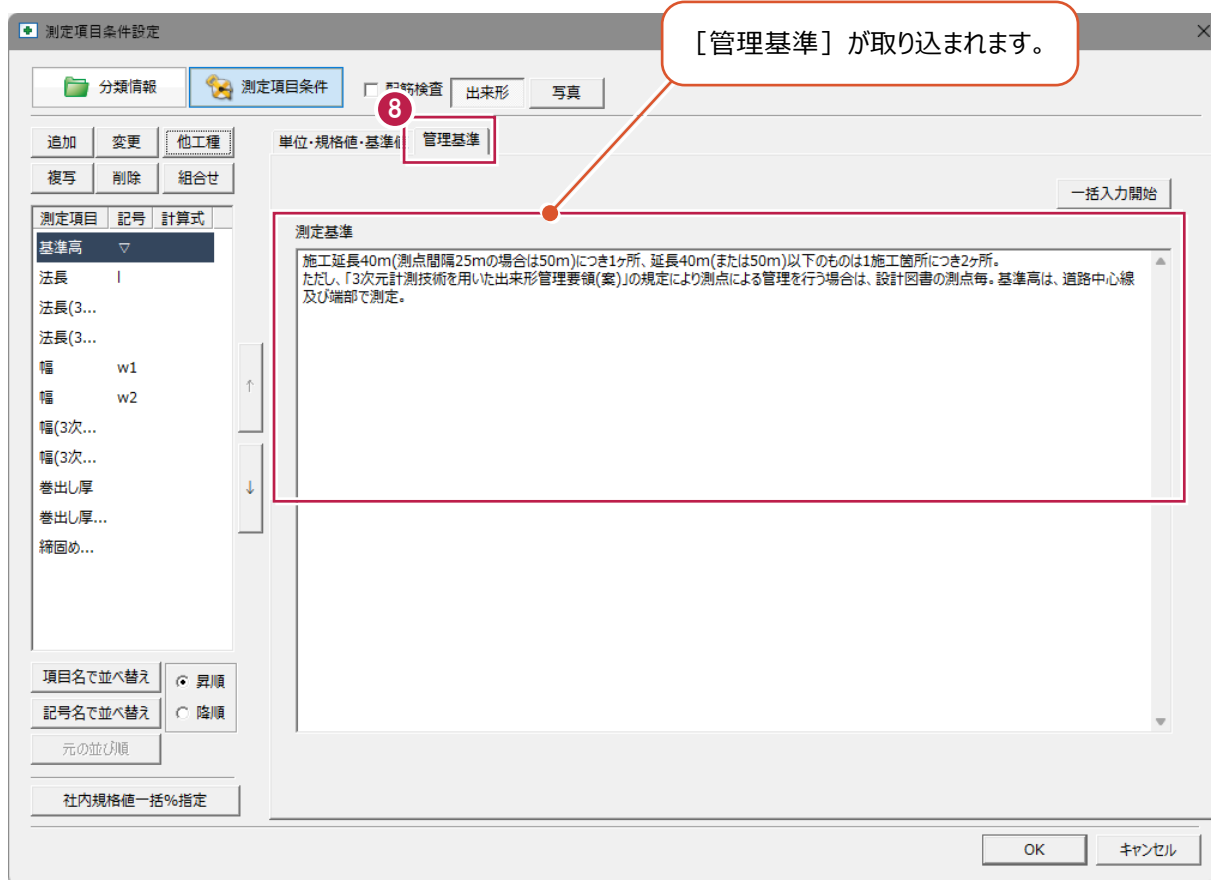


⑦ [はい] をクリックします。





8 [管理基準] タブをクリックします。



9 [写真] をクリックします。

10 [測定項目] - [法長] を選択します。

11 [OK] をクリックします。



■ 社内規格値の一括設定

① [社内規格値設定] をクリックします。

The screenshot shows the '工事内容' (Work Content) dialog box. The left sidebar contains several sections: '追加' (Add), '編集' (Edit), '管理基準入力' (Input Management Standards), and 'EXCEL反映' (Excel Reflection). The '社内規格値設定' (Set Internal Standard Value) button is highlighted with a red box and a circled '1'. The main area displays a table of work items with columns for '名称' (Name), '数量' (Quantity), '単位' (Unit), and '管理' (Management).

	名称	数量	単位	管理
<input type="checkbox"/>	工事			
<input type="checkbox"/>	工 準備工	1	式	
<input type="checkbox"/>	種 現地踏査・現地測量	200	m	
<input type="checkbox"/>	工 道路土工	1	式	
<input checked="" type="checkbox"/>	種出 掘削工	2000	m3	
<input checked="" type="checkbox"/>	種出 路体盛土	2000	m3	
<input type="checkbox"/>	種 路床盛土	2000	m3	
<input type="checkbox"/>	工 排水構造物工	1	式	
<input type="checkbox"/>	種 排水工	1	式	
<input type="checkbox"/>	細 自由勾配側溝	400	m	
<input type="checkbox"/>	細 プレキャストボックス工	10	m	
<input type="checkbox"/>	工 舗装工	1	式	
<input type="checkbox"/>	種 アスファルト舗装工	1	式	
<input type="checkbox"/>	細 下層路盤工	2000	m2	
<input type="checkbox"/>	細 上層路盤工 粒度調整路盤工	2000	m2	
<input type="checkbox"/>	細 表層工	2000	m2	
<input type="checkbox"/>	工 仮設道路	80	m	

② [パーセント] に「80」と入力します。

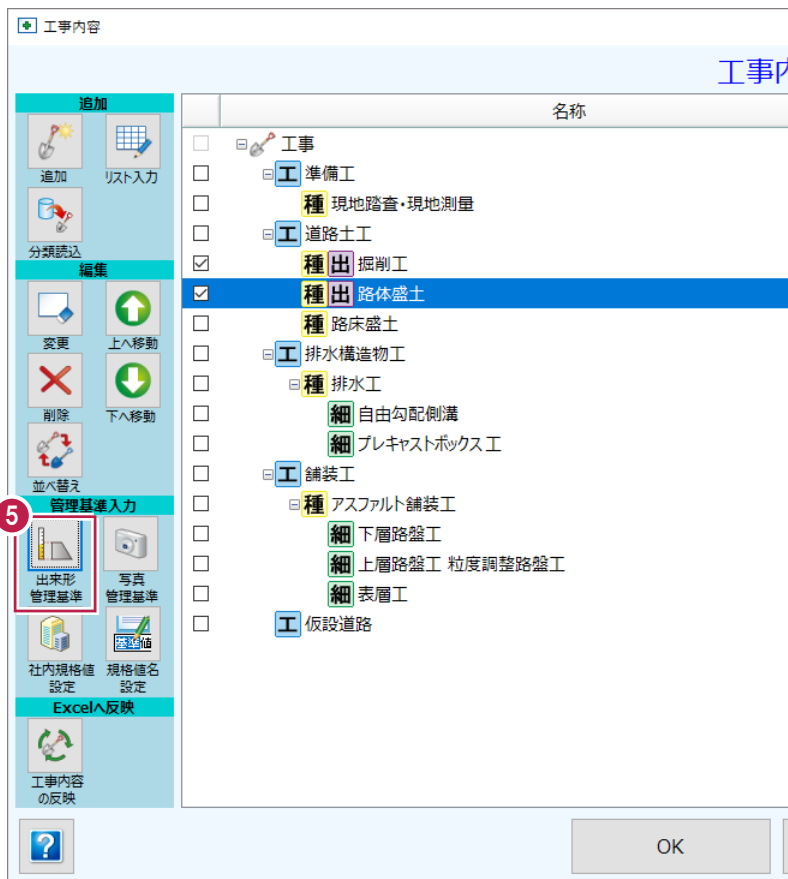
③ [OK] をクリックします。

The screenshot shows the '社内規格値設定' (Set Internal Standard Value) dialog box. The text reads: '全工種の社内規格値を、規格値のn%に一括で変更します。パーセントを入力してください。' (Change the internal standard values of all work items to n% of the standard values in bulk. Please enter the percentage.) The 'パーセント' (Percentage) input field is set to '80' and is highlighted with a red box and a circled '2'. The 'OK' button is also highlighted with a red box and a circled '3'.

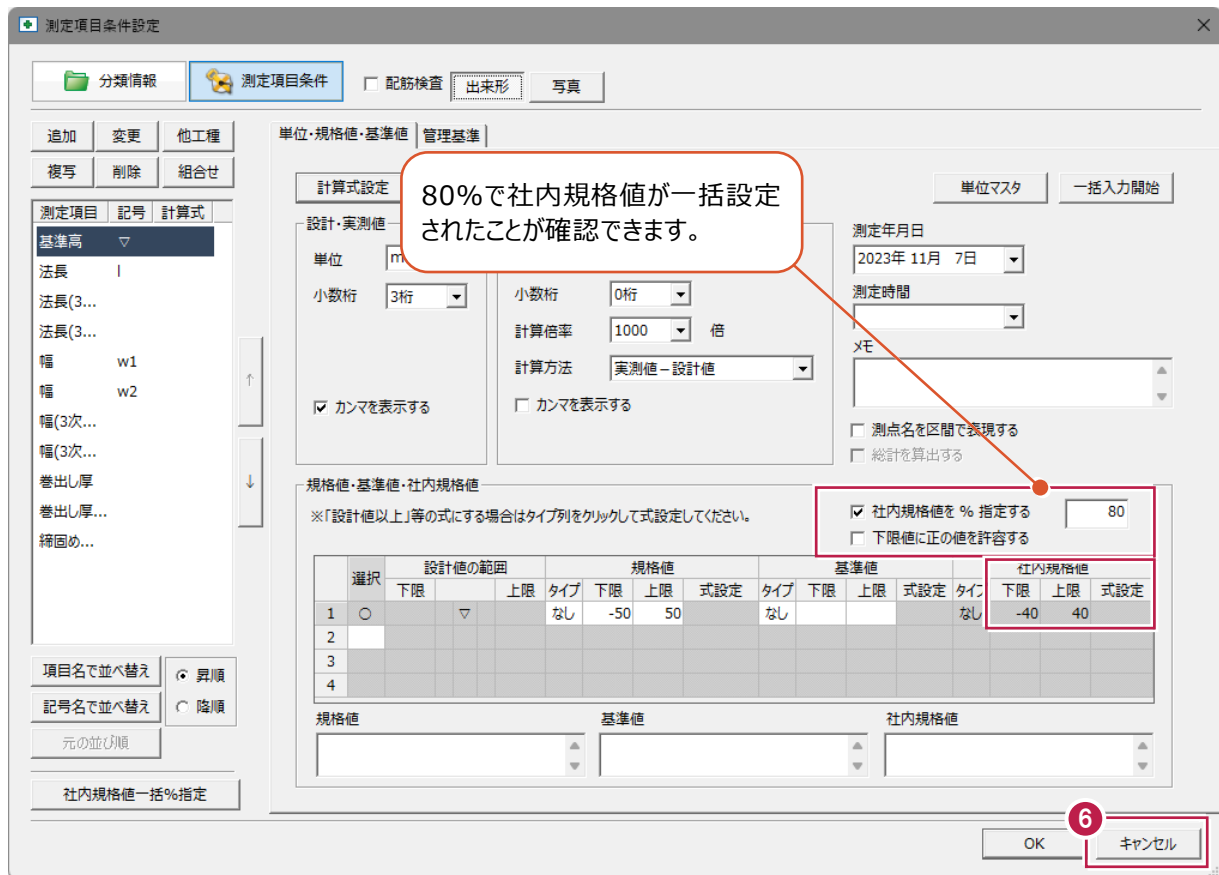
④ [[はい] をクリックします。

The screenshot shows the '施工計画書作成支援' (Construction Plan Book Creation Support) dialog box. The text reads: '全工種の社内規格値を、規格値の80%に変更します。よろしいですか?' (Change the internal standard values of all work items to 80% of the standard values. Is it all right?). The 'はい' (Yes) button is highlighted with a red box and a circled '4'.

- 5 社内規格値を確認します。
[出来形管理基準] をクリックします。



- 6 [キャンセル] をクリックします。



写真撮影箇所の追加

- 写真撮影箇所の分類を追加します。
[写真管理基準] をクリックします。

名称	数量	単位	管理
工事			
準備工	1	式	
種 現地踏査・現地測量	200	m	
道路土工	1	式	
種出 掘削工	2000	m3	
種出 路体盛土	2000	m3	
種 路床盛土	2000	m3	
排水構築物工	1	式	
種 排水工	1	式	
細 自由勾配側溝	400	m	
細 プレキャストボックス工	10	m	
舗装工	1	式	
種 アスファルト舗装工	1	式	
細 下層路盤工	2000	m2	
細 上層路盤工 粒度調整路盤工	2000	m2	
細 表層工	2000	m2	
仮設道路	80	m	

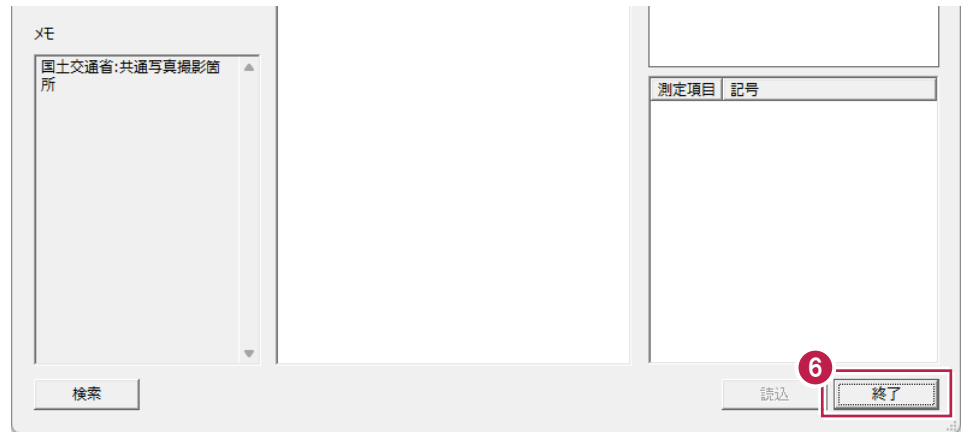
- [分類読込 (テンプレート)] をクリックします。

- 以下のように設定します。
[テンプレート名] : 0000 国土交通省
[グループ名] : 共通写真撮影箇所
[登録名] : 施工状況

- 分類ツリーから [全選択] を選択します。

- [読込] をクリックします。

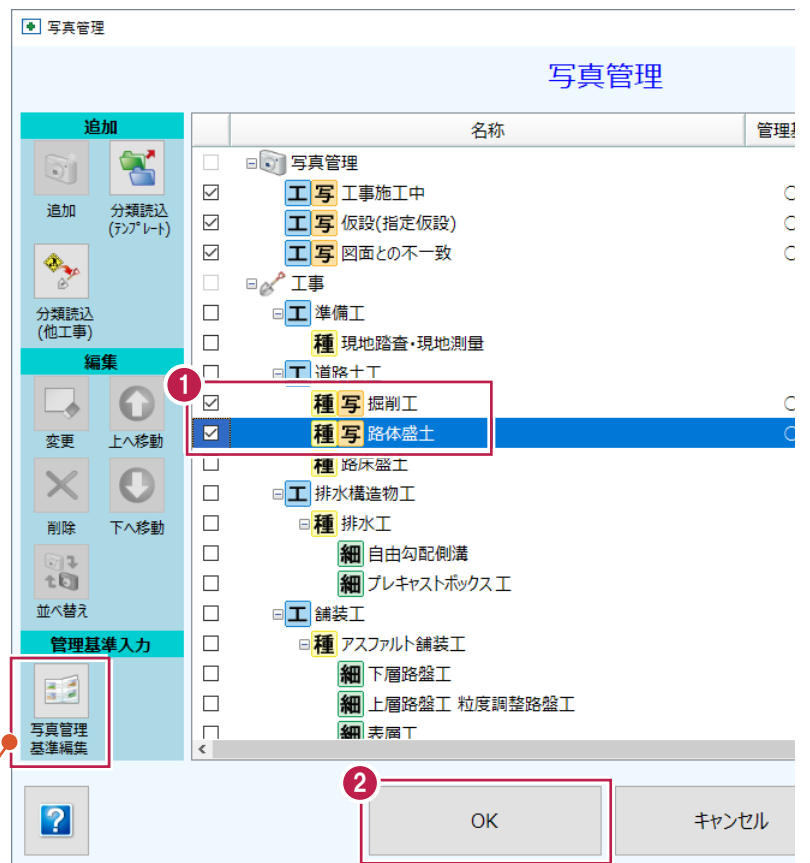
6 [終了] をクリックします。



写真管理基準の設定

1 ここでは、出来形管理基準設定時、工事テンプレートから読み込んだ分類も施工計画書に記載するため、「掘削工」「路体盛土」をオンにします。

2 [OK] をクリックします。



[写真管理基準編集] で、個別に設定・編集が行えます。

■ 管理基準タイプの選択

- 1 出来形管理基準表、写真管理基準表のタイプを選択します。

ここでは、それぞれ [土木タイプ] を選択します。

- 2 [OK] をクリックします。

	数量	単位	管理基準
	1	式	
測量	200	m	
	1	式	
	2000	m3	<input type="radio"/>
	2000	m3	<input type="radio"/>
	2000	m3	
	1	式	
	1	式	
溝	400	m	
ボックス工	10	m	
	1	式	
工	1	式	
	2000	m2	
二 粒度調整路盤工	2000	m2	
	2000	m2	
	80	m	

- 3 [OK] をクリックします。

全ての分類がオンになっていることを確認します。

- 工事
 - 準備工
 - 種 現地踏査・現地測量
 - 道路土工
 - 種 掘削工
 - 種 路体盛土
 - 種 路床盛土
 - 排水構造物工
 - 種 排水工
 - 細 自由勾配側溝
 - 細 プレキャストボックス工
 - 舗装工
 - 種 アスファルト舗装工
 - 細 下層路盤工
 - 細 上層路盤工 粒度調整路盤工
 - 細 表層工
 - 仮設道路

- 4 [OK] をクリックします。

品質管理基準の設定

- 1 [品質管理基準] をクリックします。



- 2 [品質管理データ読込] をクリックします。

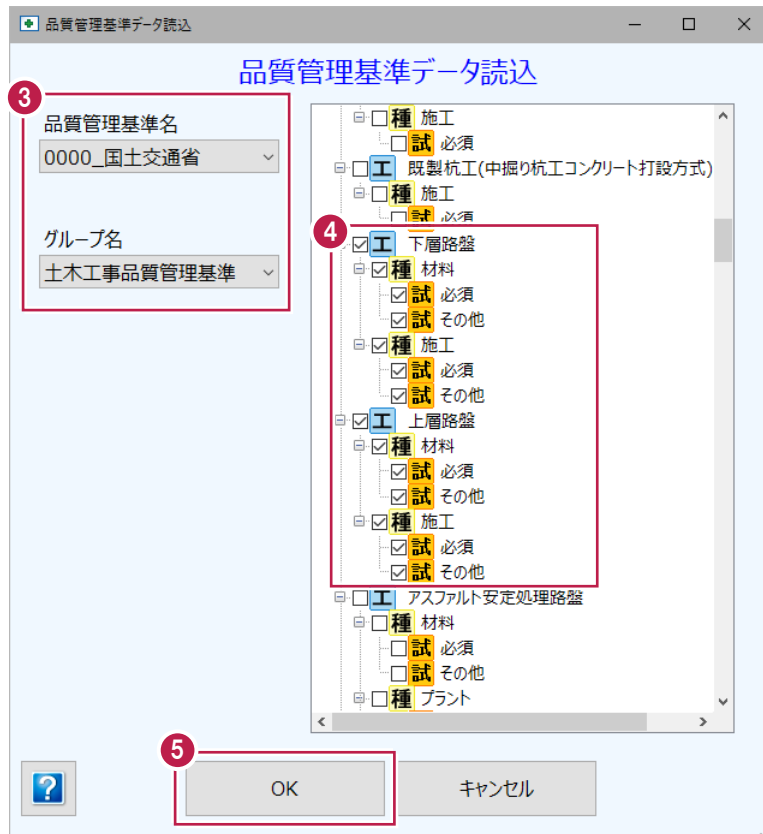


③ 以下のように設定します。

[品質管理基準名] : 0000_国土交通省
[グループ名] : 土木工事品質管理基準

④ [下層路盤] [上層路盤] をオンにします。

⑤ [OK] をクリックします。



⑥ [OK] をクリックします。

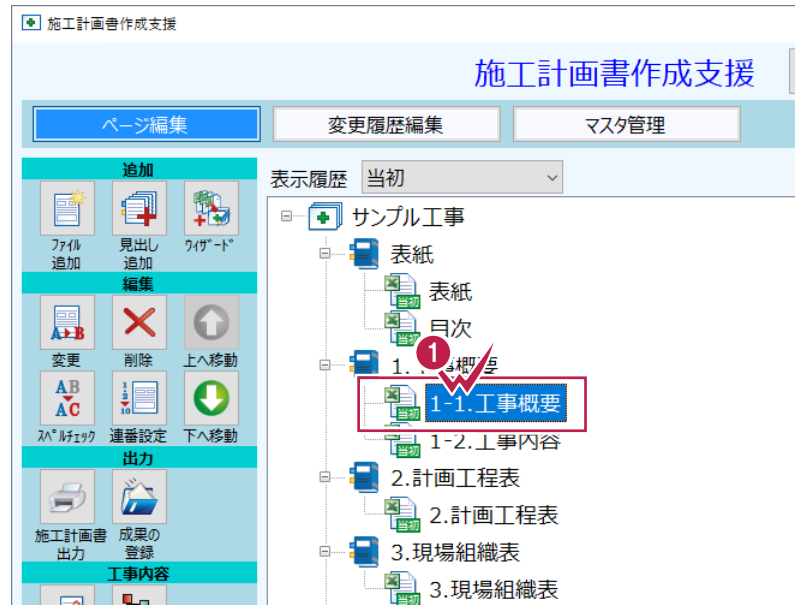


2-5 施工計画書のページ編集

施工計画書作成支援では「ページ編集」「変更履歴編集」「マスタ管理」の3つのステージに分かれています。ここでは「ページ編集」ステージで施工計画書の書類の確認・編集を行う手順を説明します。

Excel 起動

- 1 「1-1.工事概要」をダブルクリックします。
Excel が起動します。



施工計画書作成支援は、Excelのアドインソフトのため、Excelに「施工計画書」タブが追加されます。

- 2 「施工計画書」タブをクリックします。

工 事 名	サンプル工事		
路 線 名 (河 川 名)			
工 事 場 所			
工 期	自)	令和4年11月16日	
	至)	令和4年11月16日	
請 負 代 金	¥	0	円
発 注 者			
	TEL	000-000-0000	
	○出張所		
	TEL	000-000-0000	

「施工計画書」タブをクリックすると、施工計画書作成支援の各コマンドが用意されていることが確認できます。

工事名や工期等、インデックスで入力した情報が連動します。

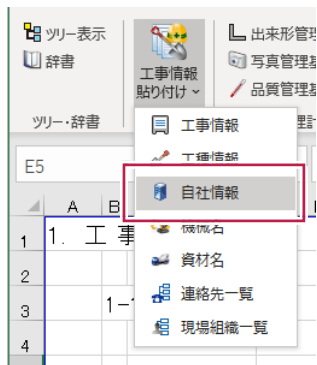
■ 削除と上書き保存

- 1 受注者の所在地が2か所あるため、1か所を削除します。

所在地の右のセルを選択し、キーボードのDeleteキーを押します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
8									
9					至)	令和4年11月16日			
10			請 負 代 金		¥	0		円	
11									
12			発 注 者						
13					TEL	000-000-0000			
14					〇〇出張所				
15					TEL	000-000-0000			
16			受 注 者						
17					所在地	〇〇県〇〇市〇〇			
18					TEL	000-000-0000			
19					〇〇作業所				
20					所在地	〇〇県〇〇市〇〇			
21					TEL	000-000-0000			
22									

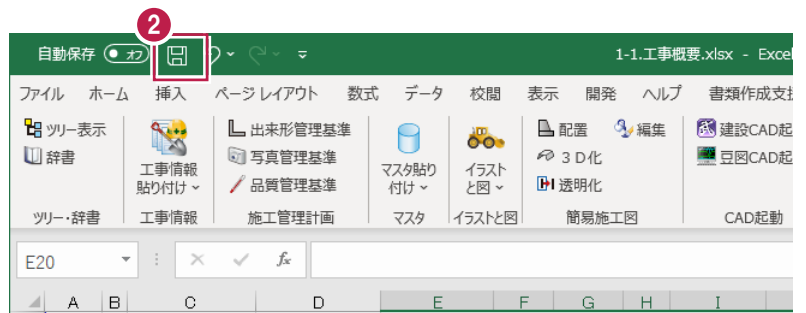
[工事概要] では、インデックスで入力した [自社情報] を読み込むことができます。



	A	B	C	D	E	F	G	H	I
8									
9					至)	令和4年11月16日			
10			請 負 代 金		¥	0		円	
11									
12			発 注 者						
13					TEL	000-000-0000			
14					〇〇出張所				
15									
16			受 注 者						
17									
18									
19					〇〇作業所				
20					所在地				
21					TEL	000-000-0000			

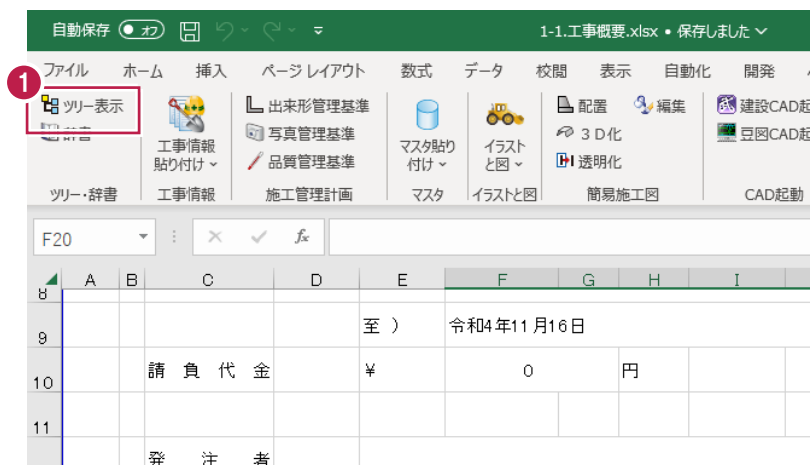
住所が削除されます。
このように削除や入力など通常のExcelと同様の編集ができます。

- 2 編集後 [上書き保存] をクリックします。

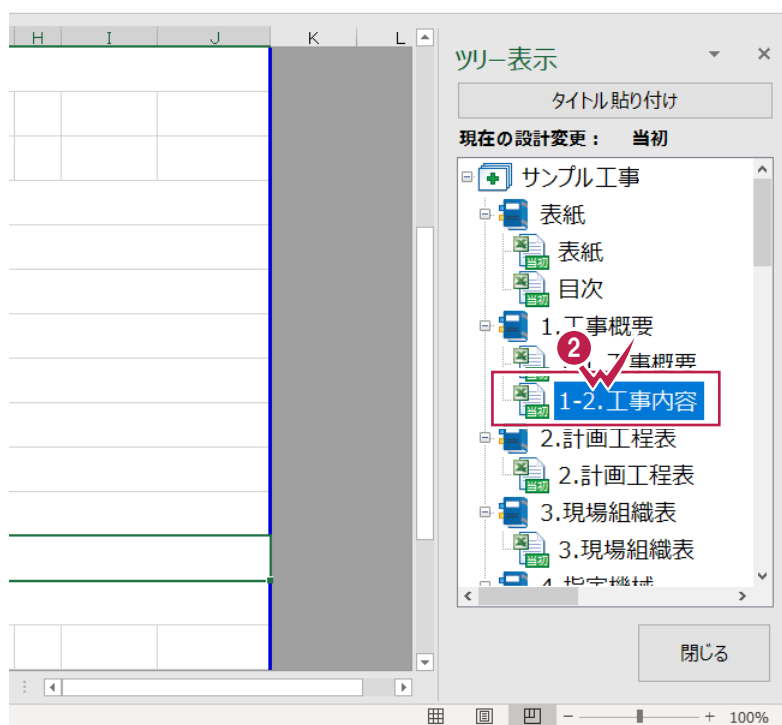


■ 工事内容の編集

- ① [ツリー・辞書] グループ [ツリー表示] をクリックします。

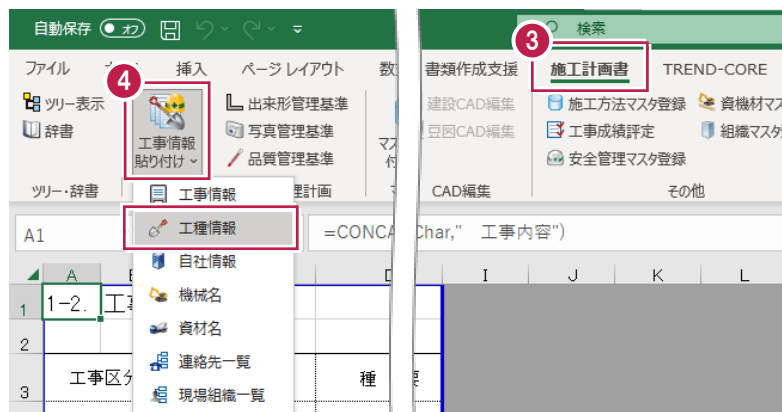


- ② [1-2.工事内容] をダブルクリックします。



- ③ [施工計画書] タブをクリックします。

- ④ [工事情報] グループ – [工事情報貼り付け▼] – [工事情報] をクリックします。



- 5 貼り付けるセル、ここでは4行目C列を選択します。

	A	B	C	D	E	F	G
1	1-2. 工事内容						
2							
3	工事区分	工種	種別	細別	単位	数量	
4							
5							
6							

- 6 [貼り付け] をクリックします。
工種情報貼り付けダイアログが表示されます。

工種情報

貼り付け データ編集

- 工事
 - 準備工
 - 現地踏査・現地測量
 - 道路土工
 - 掘削工
 - 路体盛土
 - 路床盛土
 - 排水構造物工
 - 排水工
 - 自由勾配側溝
 - プレキャストボックス工
 - 舗装工
 - アスファルト舗装工
 - 下層路盤工

- 7 工種を貼り付けるパターンを選択します。
ここでは[国土交通省(共通)]を選択します。

- 8 貼り付ける工種を選択します。
ここではすべて選択されていることを確認します。

- 9 [貼り付け] をクリックします。

工種情報貼り付け

パターン選択

工種	種別	単位	数量(変更)
[工種]		[単位]	[数量(変更)]
[種別]	[種別]	[単位]	[数量(変更)]
[種別]	[種別]	[単位]	[数量(変更)]
[種別]	[種別]	[単位]	[数量(変更)]

国土交通省(共通)

貼り付け 閉じる

貼り付けるセルを選択してください。
全選択状態で貼り付けを行わないと、工事内容の変更を反映させることができません。

工種	種別	細別	単位	数量(変更)
準備工			式	1
	現地踏査・現地測量		m	200
道路土工			式	1
	掘削工		m3	2000

1	1-2. 工事内容						
2	工事区分	工種	種別	細別	単位	数量	摘要
3		準備工			式	1	
4			現地踏査・現地測量		m	200	
5		道路土工			式	1	
6			掘削工		m ³	2000	
7			路体盛土		m ³	2000	
8			路床盛土		m ³	2000	
9		排水構造物工			式	1	
10			排水工		式	1	
11			自由勾配側溝		m	400	
12			プレキャスト水ツツス工		m	10	
13		舗装工			式	1	
14			アスファルト舗装工		式	1	
15			下層路盤工		m ²	2000	
16			上層路盤工 程度		m ²	2000	
17			調整路盤工		m ²	2000	
18			表層工		m ²	2000	

工種や単位・数量などが貼り付きます。

[データ編集] をクリックし、工種分類の編集も可能です。

⑩ 編集後 [上書き保存] をクリックします。

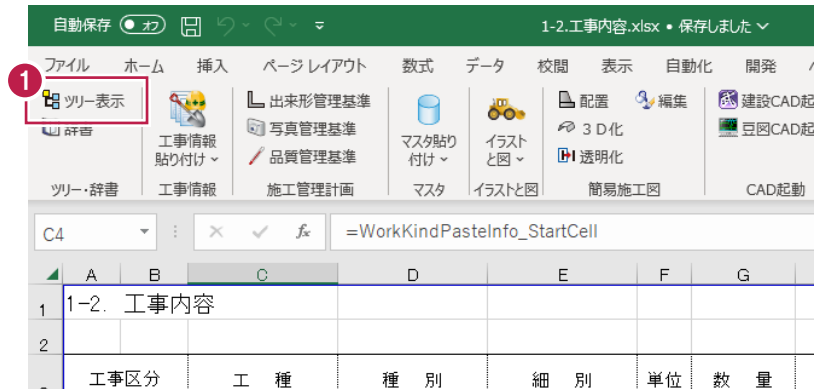
1-2. 工事内容

工事区分	工種	種別	細別	単位	数量
	準備工			式	1
		現地踏査・現地測量		m	200
	道路土工			式	1

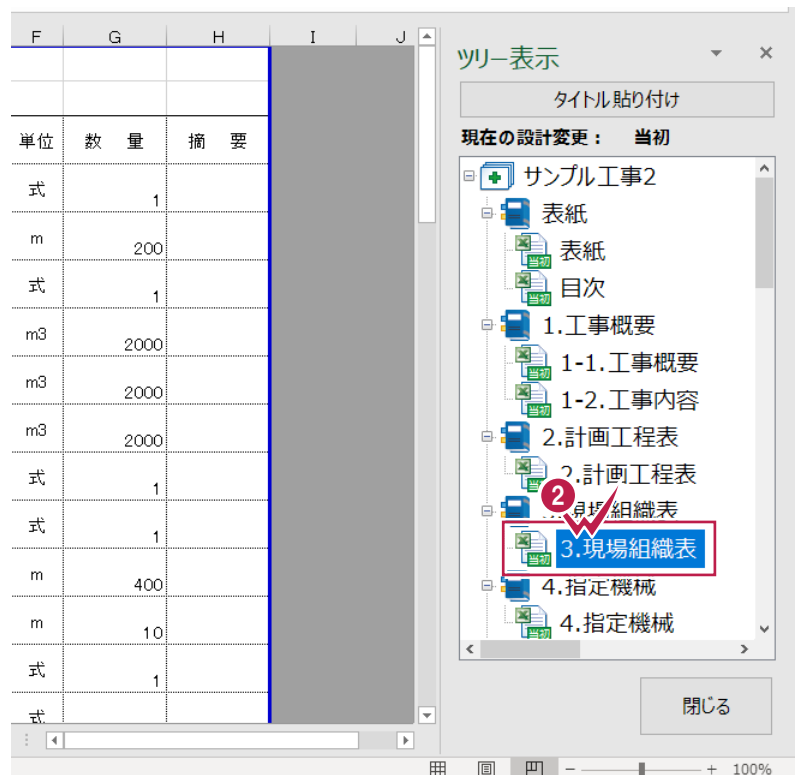
2-6 現場組織表の作成

現場組織票を作成する手順を説明します。

- 1 [ツリー・辞書] グループ [ツリー表示] をクリックします。

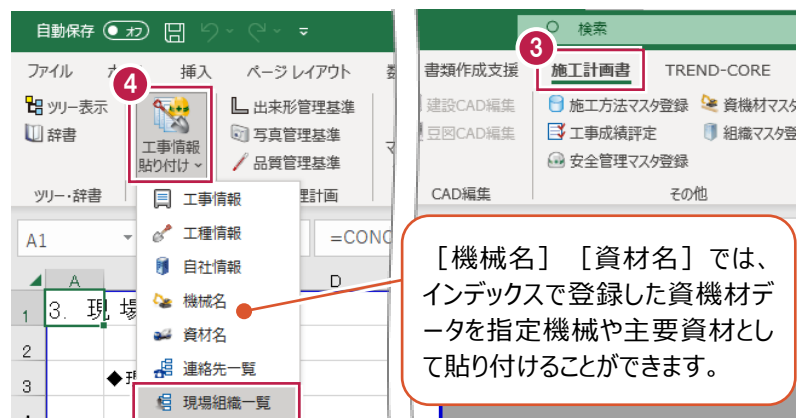


- 2 [3.現場組織表] をダブルクリックします。



- 3 [施工計画書] タブをクリックします。

- 4 [工事情報] グループ [工事情報貼り付け▼] - [現場組織一覧] をクリックします。



[機械名] [資材名] では、インデックスで登録した資機材データを指定機械や主要資材として貼り付けることができます。

5 [追加] をクリックします。

現場組織一覧

現場組織作成パターン選択

現場組織

担当者	氏名	電話番号	所
現場事務担当者			
資材担当者			
労務担当者			
労働監督署			
設計照査担当者			
労務安全担当者			
火薬類取締保安			
重機管理担当者			
機械器具管理担			
交通安全担当者			
測量出来形担当			
安全巡視員			

6 現場組織名称を入力します。
ここでは「〇〇工事用」と入力します。

7 現場事務担当者の氏名セルをダブルクリックし、「福井太郎」と入力します。

現場組織追加

現場組織名称
〇〇工事用

担当者	氏名	電話番号	所属組織名
現場事務担当者	福井太郎		
資材担当者			
労務担当者			
労働監督署			
設計照査担当者			
労務安全担当者			
火薬類取締保安			

8 現場代理人と主任技術者は「▼」をクリックしてリストから選択します。
人材マスタで登録した電話番号と所属組織名がセットされます。

9 [OK] をクリックします。

現場組織追加

現場組織名称
〇〇工事用

担当者	氏名	電話番号	所属組織名
交通安全担当者			
測量出来形担当			
安全巡視員			
写真管理担当者			
品質管理担当者			
出来形管理担当			
工程管理担当者			
建設副産物責任			
社内検査員			
品質保証担当			
現場代理人	現場一部	090-0000-000	福井コンピュータ
主任技術者	主任二部	090-0000-000	福井コンピュータ

インデックスで人材マスタを登録した場合は「▼」から選択できます。
人材マスタの登録方法は、「1-8 資機材・組織・人材マスタの登録」を参照してください。

10 [パターン 1] を選択します。

現場組織作成パターンから、
現場組織の表タイプが選べます。

現場組織一覧

現場組織作成パターン選択

パターン1 パターン2 パターン3 パターン4 パターン5

現場組織

○○工事用

担当者	氏名	電話番号	所
現場事務担当者	福井太郎		
資材担当者			
交通安全担当者			
測量出来形担当			
安全巡視員			

貼り付け 閉じる

現場組織名が登録され、次回以降
同じ組織を使用することができます。
また、現場組織は複数登録すること
も可能です。

11 [貼り付け] をクリックします。

12 [閉じる] をクリックします。

貼り付け 閉じる

現場組織表

◆現場組織表

(事務関係)	氏名	所属会社
現場事務担当者	福井太郎	
資材担当者		
労務担当者		

(技術関係)	氏名	所属会社
設計照査担当者		
労務安全担当者		
火薬類取締保安者		
重機管理担当者		
機械器具管理担当者		
交通安全担当者		
測量出来形担当者		
安全巡視員		
写真管理担当者		

主任技術者 主任二郎
TEL 090-0000-0002
携帯

現場代理人 現場一郎
TEL 090-0000-0001
携帯

社内検査員

現場組織表 現場組織

[現場組織] シートが追加され、
現場組織表が貼り付いたことが確
認できます。

既存のシートが不要な場合は、
シートを削除してください。

13 [上書き保存] をクリックします。

自動保存 保存 3.現場組織表.xlsx

ファイル ホ 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 自動化 開発

ツール表示 出来形管理基準 配置 編集 建設CAD起

辞書 互直管理基準 3D化 百図CAD部

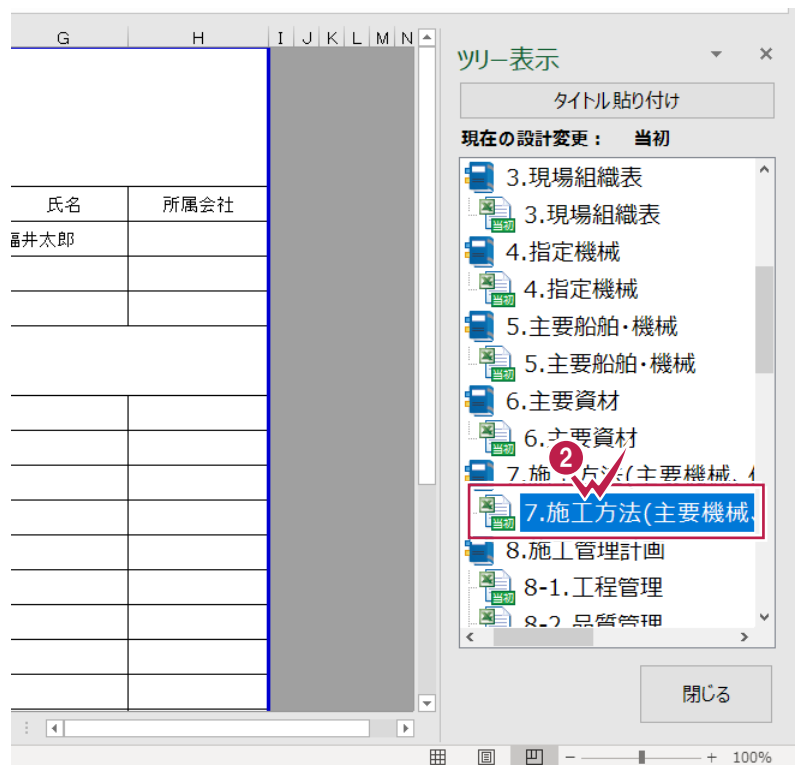
2-7 施工方法の作成

施工方法マスタを使用して施工方法を作成する手順を説明します。

- 1 [ツリー・辞書] グループ [ツリー表示] をクリックします。

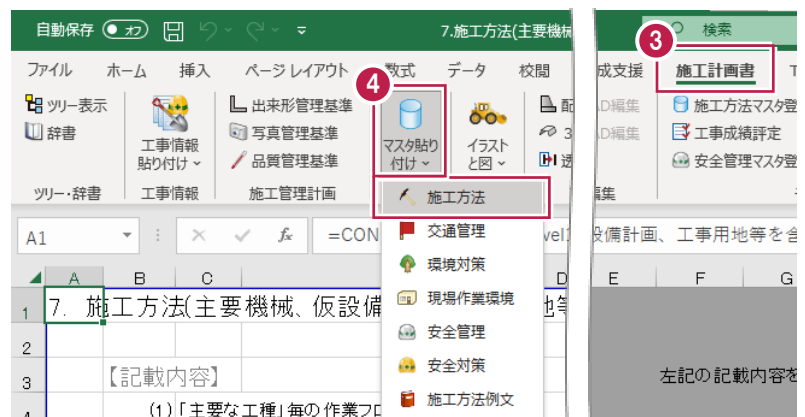


- 2 [7.施工方法（主要機械、仮設備計画、工事用地等を含む）] をダブルクリックします。



- 3 [施工計画書] タブをクリックします。

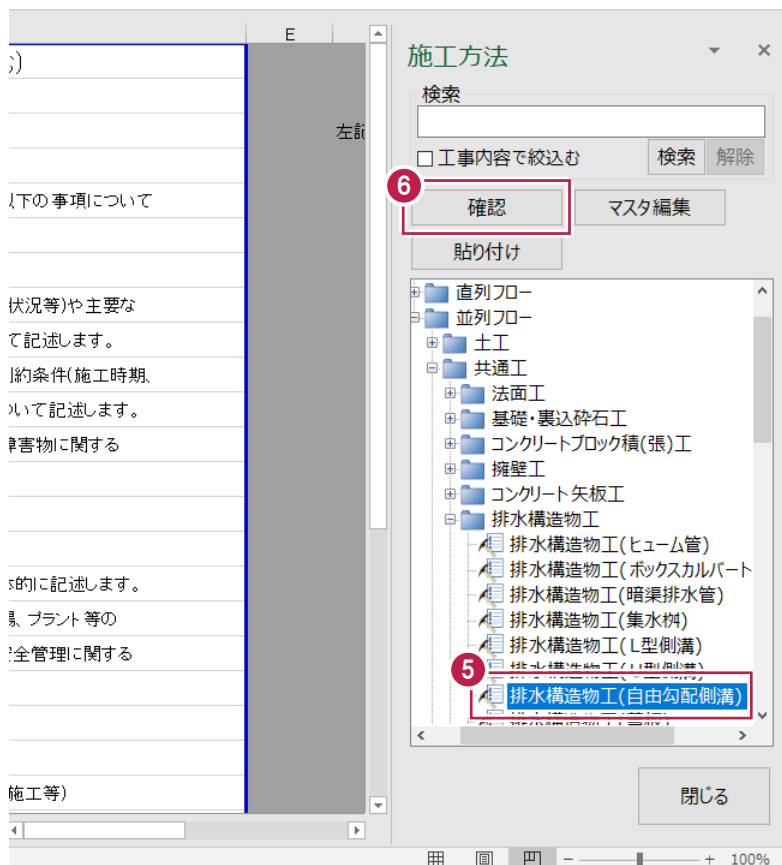
- 4 [マスタ] グループ [マスタ貼り付け▼] - [施工方法] をクリックします。



5 [施工方法] を選択します。

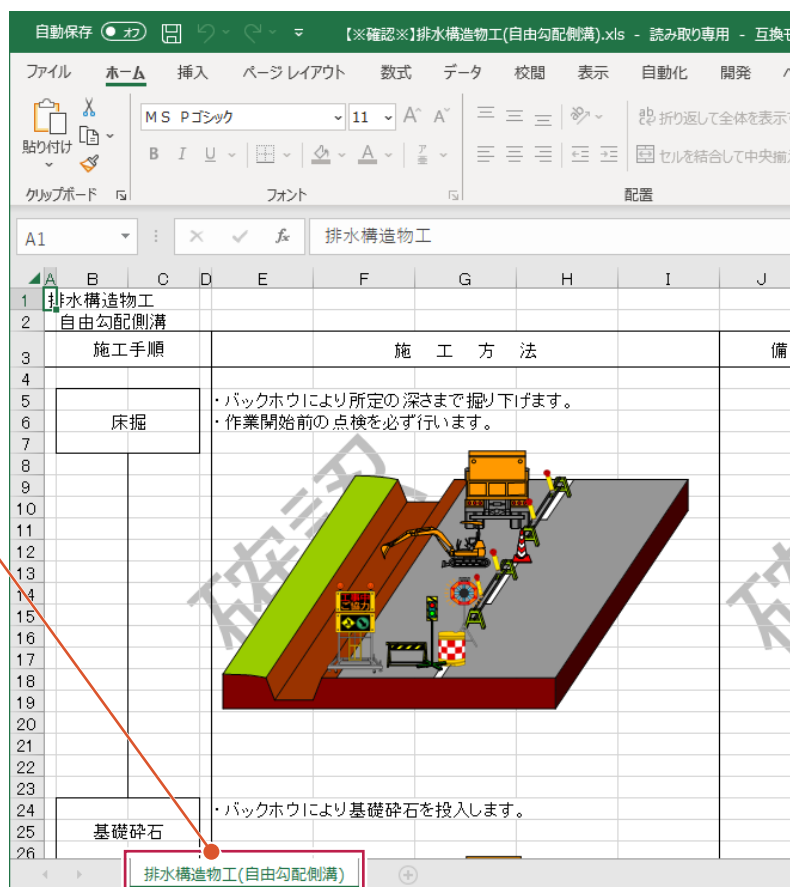
ここでは [並列フロー] - [共通工] - [排水構造物工] - [排水構造物工 (自由勾配側溝)] を選択します。

6 [確認] をクリックします。



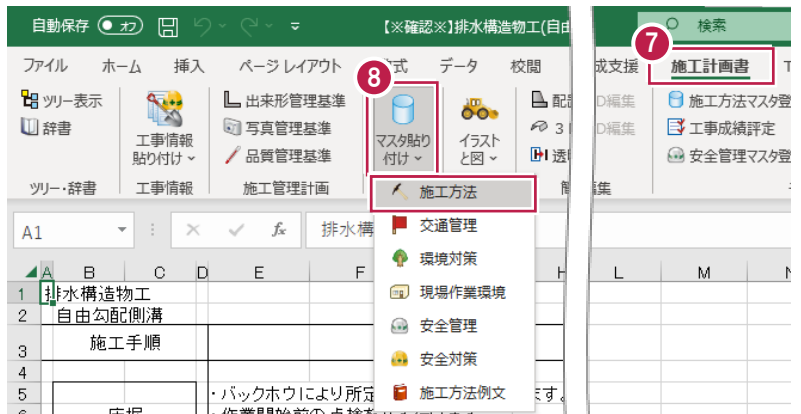
[排水構造物工 (自由勾配側溝)] のExcelのシートが表示されるため、内容を確認します。

確認後、貼り付けない場合は [閉じる] をクリックしてください。

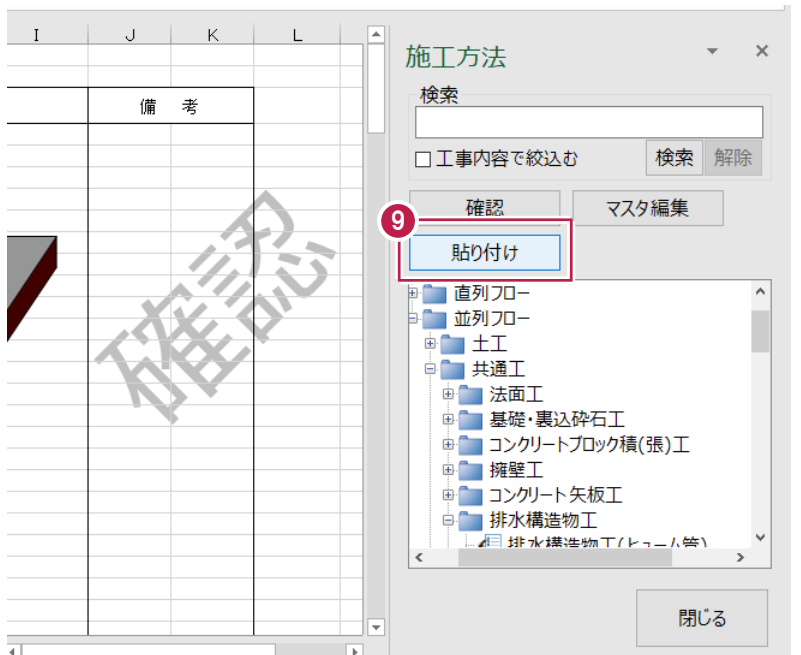


7 確認後、貼り付けを行う場合は再度【施工計画書】タブをクリックします。

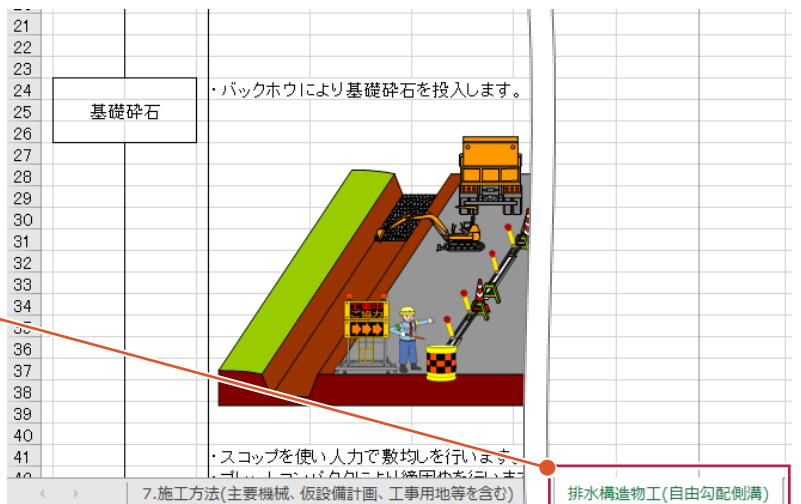
8 [マスタ] グループ [マスタ貼り付け▼] - [施工方法] をクリックします。



9 [貼り付け] をクリックします。



【排水構造物工（自由勾配側溝）】のExcelのシートが追加されます。



10 [上書き保存] をクリックします。



2-8 施工管理計画の作成

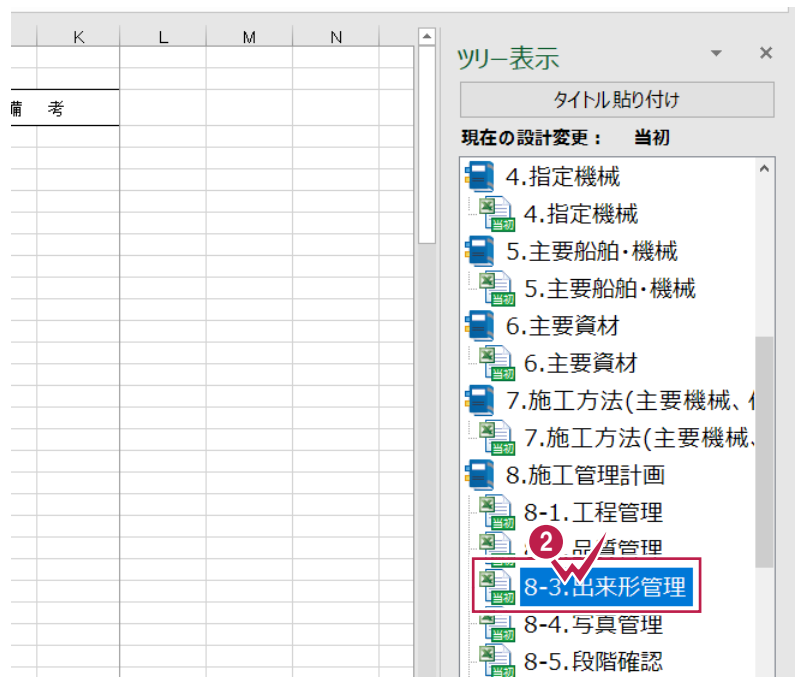
出来形・写真・品質の管理基準を作成する操作を説明します。

出来形管理基準の作成

- 1 [ツリー・辞書] グループ [ツリー表示] をクリックします。

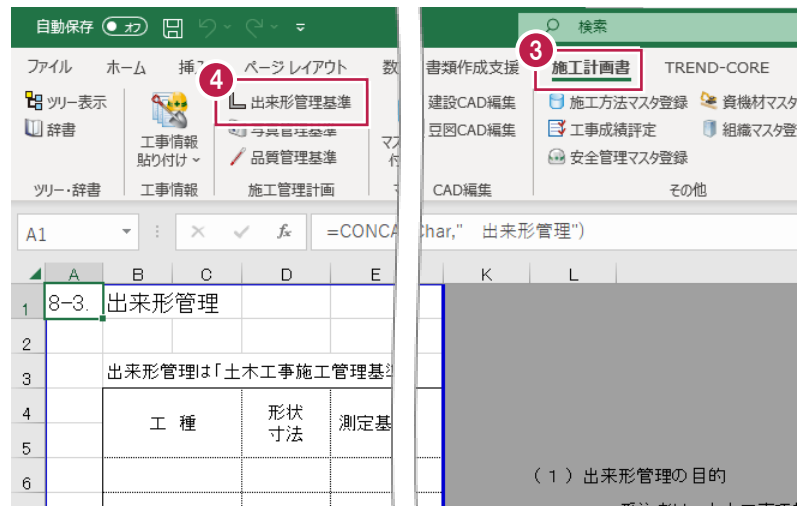


- 2 [8-3.出来形管理] をダブルクリックします。



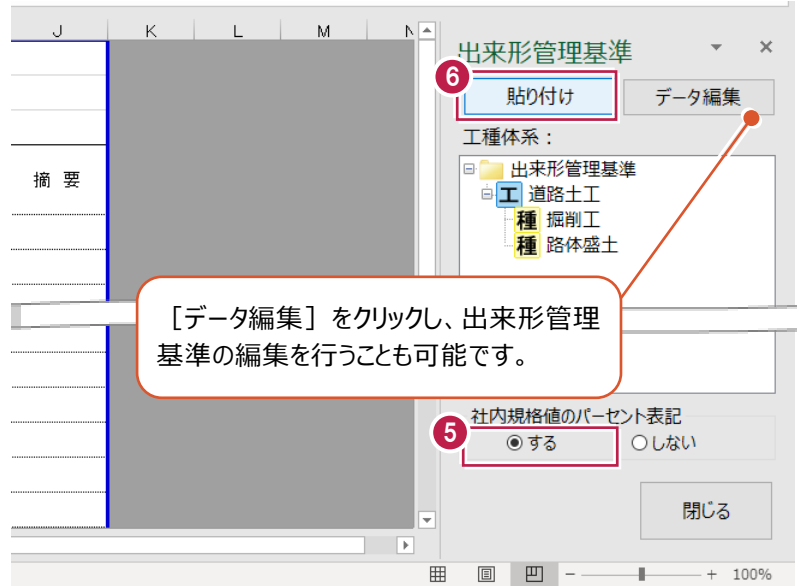
- 3 [施工計画書] タブをクリックします。

- 4 [施工管理計画] グループ [出来形管理基準] をクリックします。



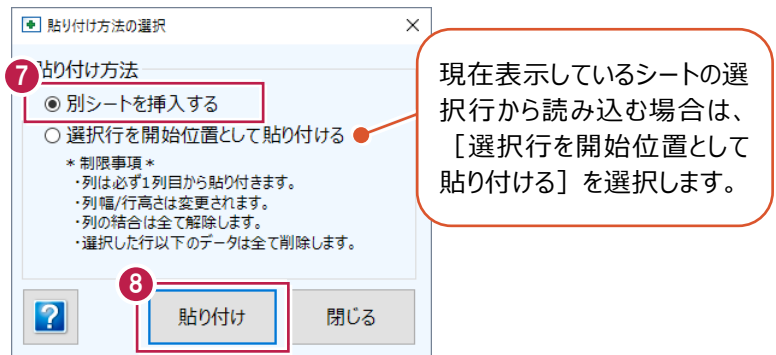
5 [社内規格値のパーセント表記] の [する] をオンにします。

6 [貼り付け] をクリックします。

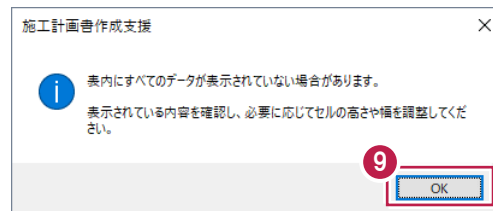


7 [別シートを挿入する] を選択します。

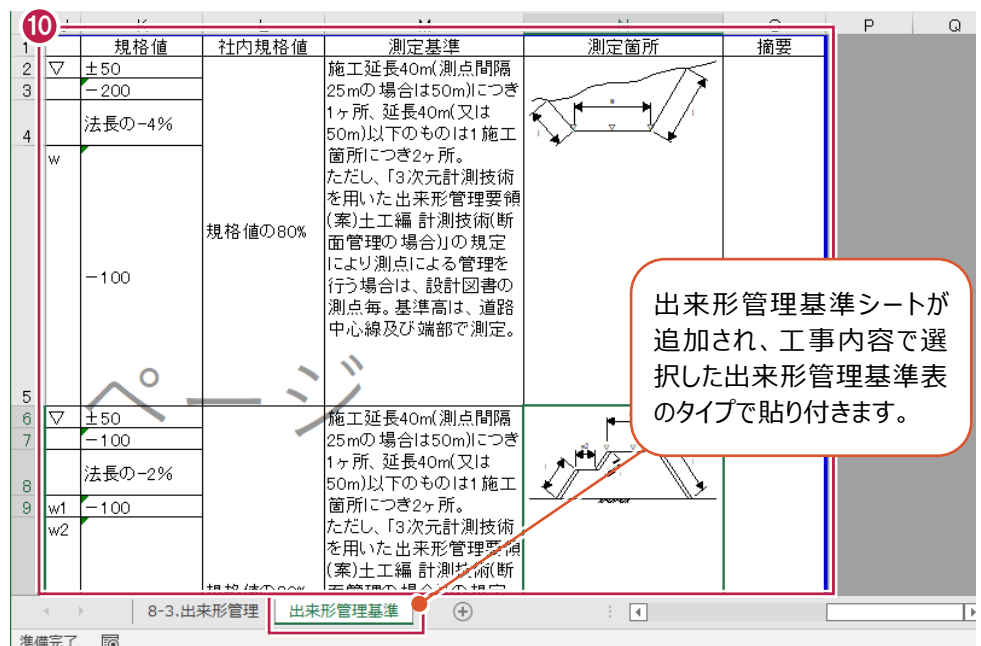
8 [貼り付け] をクリックします。



9 [OK] をクリックします。



10 必要に応じてセルの高さや幅を調整します。

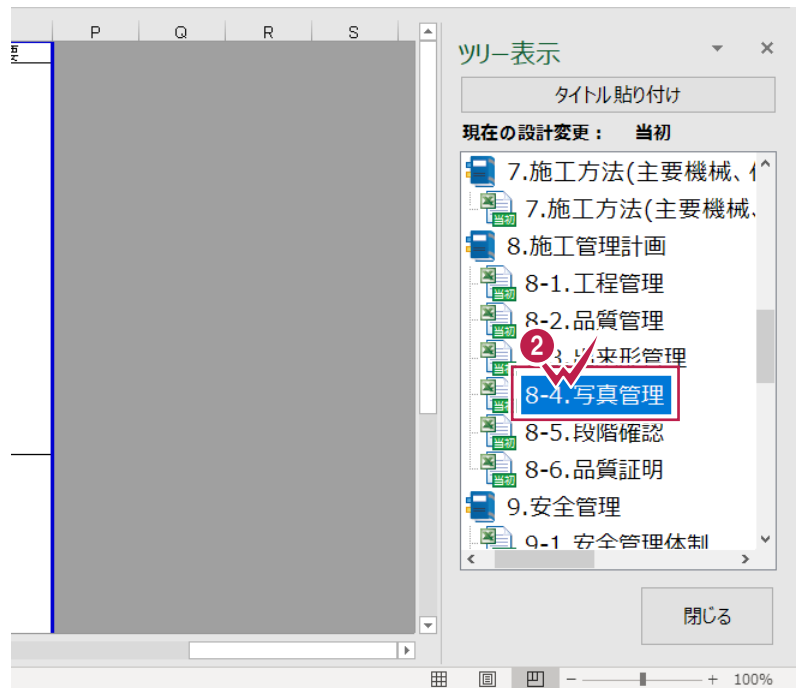


■ 写真管理基準の作成

- ① [ツリー・辞書] グループ [ツリー表示] をクリックします。

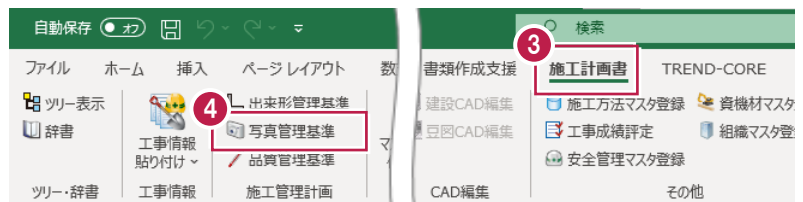


- ② [8-4.写真管理] をダブルクリックします。

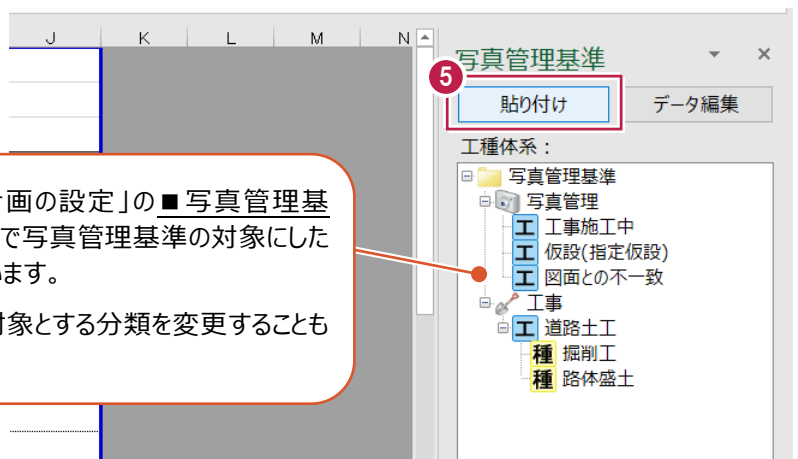


- ③ [施工計画書] タブをクリックします。

- ④ [施工管理計画] グループ [写真管理基準] をクリックします。



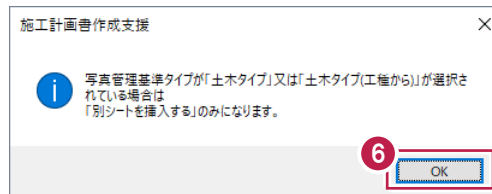
- ⑤ [貼り付け] をクリックします。



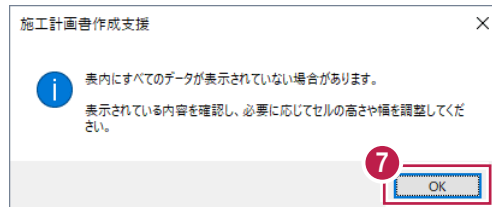
「2-4 施工管理計画の設定」の■**写真管理基準**の設定 (P.38) で写真管理基準の対象にした分類が表示されています。

「データ編集」で対象とする分類を変更することもできます。

6 [OK] をクリックします。



7 [OK] をクリックします。



8 必要に応じてセルの高さや幅を調整します。

編章節条	工種	写真管理項目		
		撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度
4	掘削工	法長	200m又は1施工箇所1回 [掘削後]	
3	道路土工	法長(3次元計測技術)	「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)土工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は1工事に1回 [掘削後]	・出 ・TS と出 点 上 設 置 が 必 要 な 場 合 に は 必 ず 撮 影
4		法長(3次元計測技術)(写真測量)	「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)土工編 多点計測技術(面管理の場合)」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることができる。	
5		土質等の判別	地質が変わる毎に1回 [掘削後]	

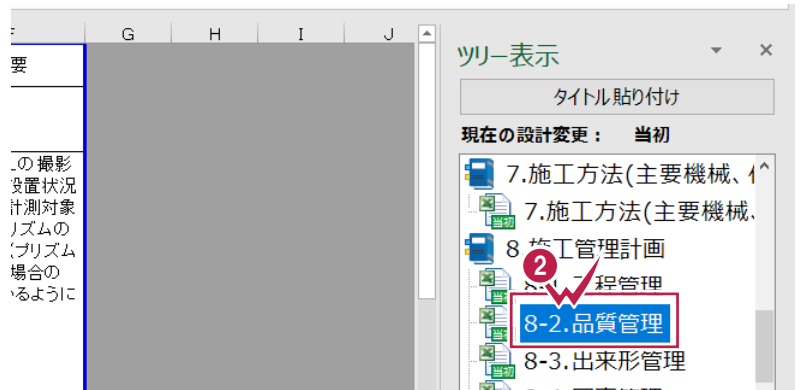
写真管理基準（撮影箇所）、写真管理基準シートが追加され、工事内容で選択した写真管理基準表のタイプで貼り付きます。

品質管理基準の作成

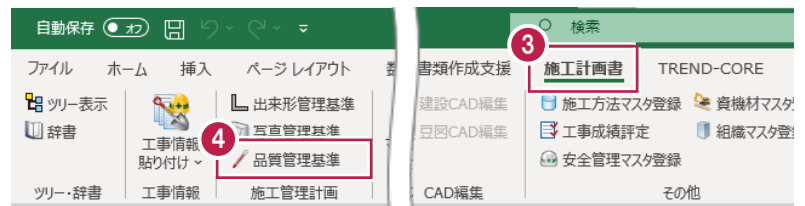
- ① [ツリー・辞書] グループ [ツリー表示] をクリックします。



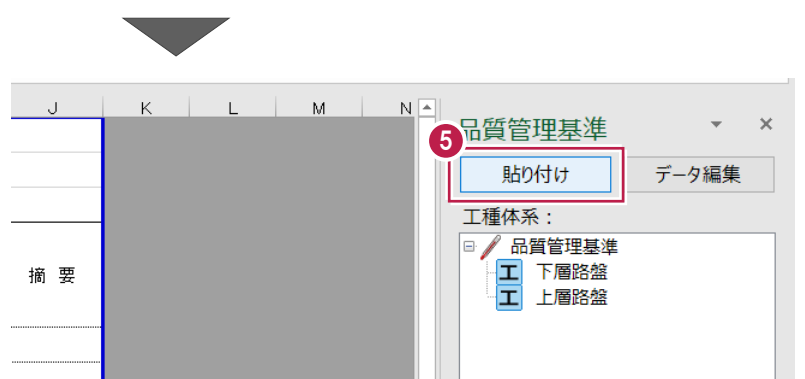
- ② [8-2.品質管理] をダブルクリックします。



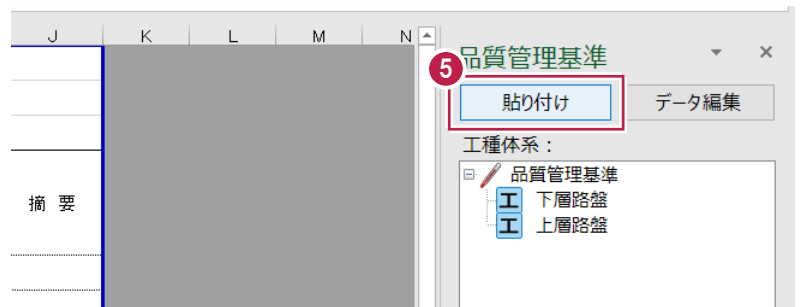
- ③ [施工計画書] タブをクリックします。



- ④ [施工管理計画] グループ [品質管理基準] をクリックします。

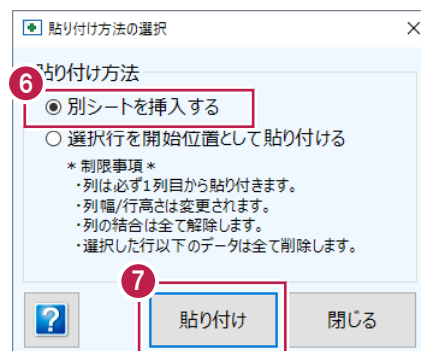


- ⑤ [貼り付け] をクリックします。

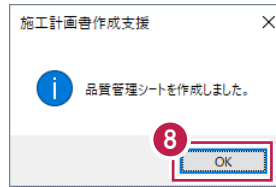


- ⑥ [別シートを挿入する] をオンにします。

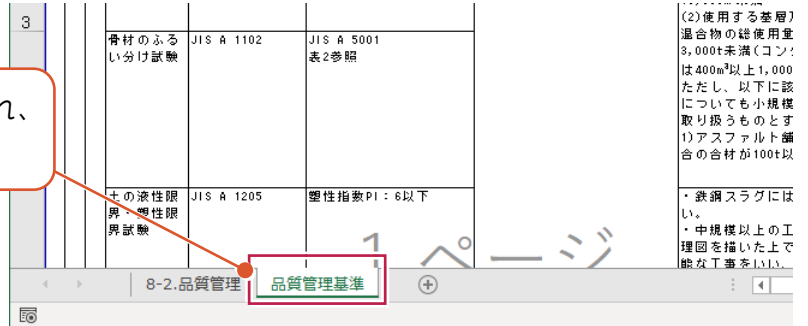
- ⑦ [貼り付け] をクリックします。



8 [OK] をクリックします。



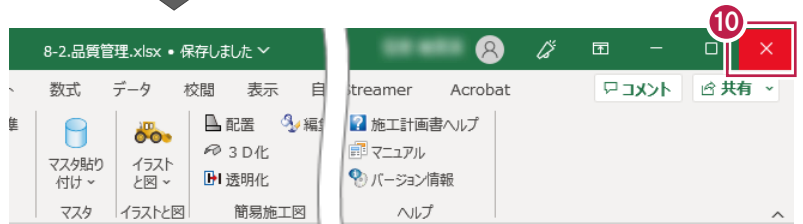
品質管理基準シートが追加され、品質管理基準が貼り付きます。



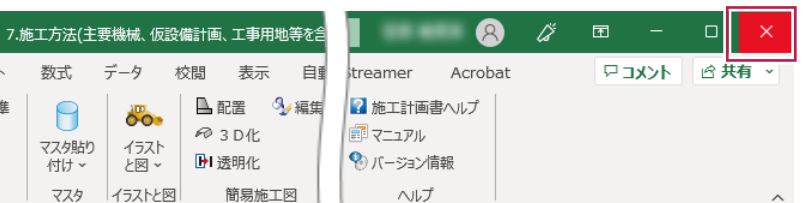
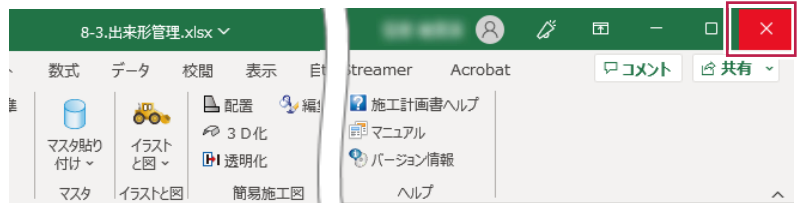
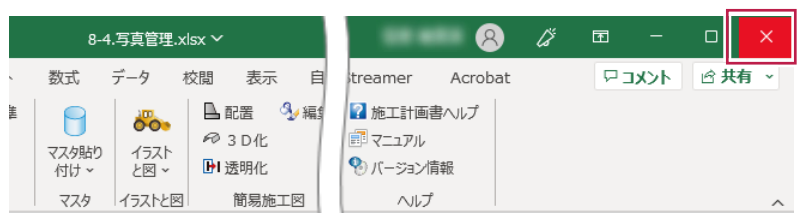
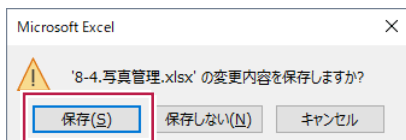
9 [上書き保存] をクリックします。



10 作成後 [閉じる] をクリックし、起動している Excel をすべて閉じます。



「保存しますか？」のメッセージが表示された場合は、[保存] をクリックし保存して閉じます。

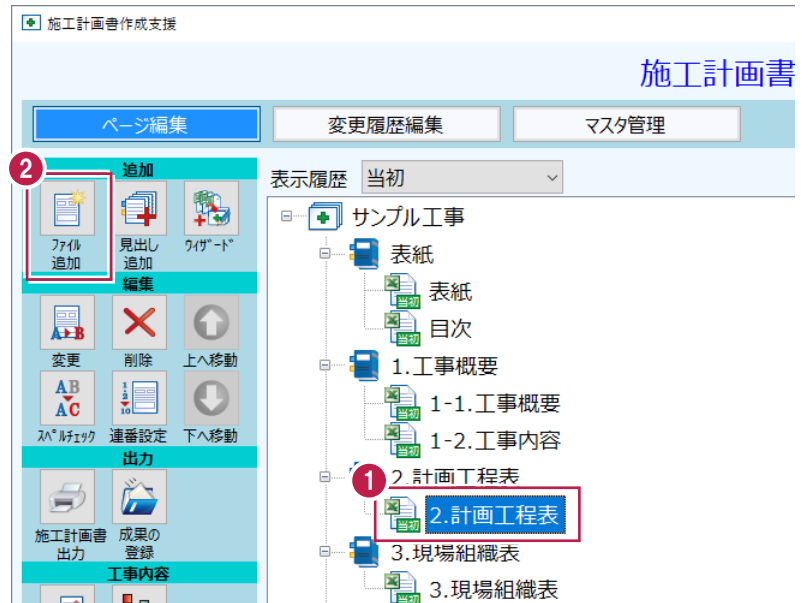


2-9 書類の追加と削除

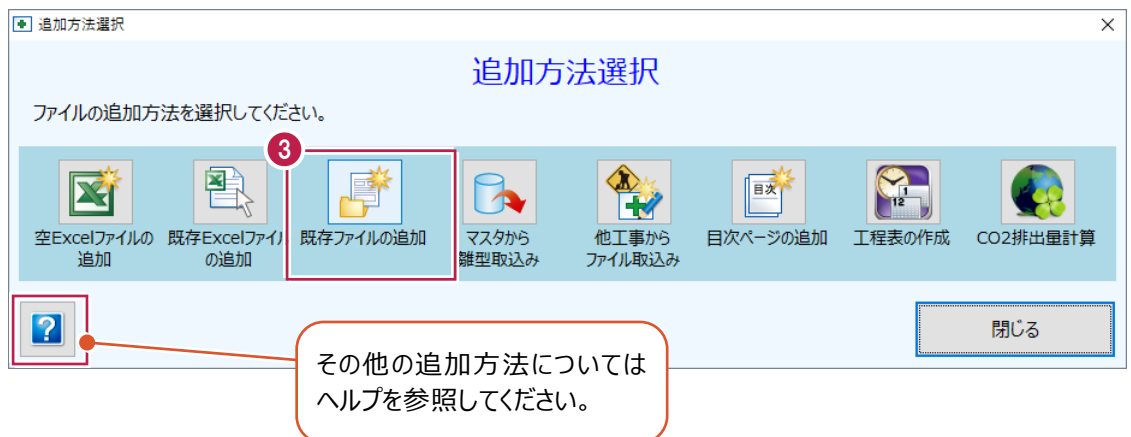
施工計画書に書類を追加・削除する操作を説明します。

① 書類を追加する位置を指定します。

② [ファイル追加] をクリックします。



③ [既存ファイルの追加] をクリックします。

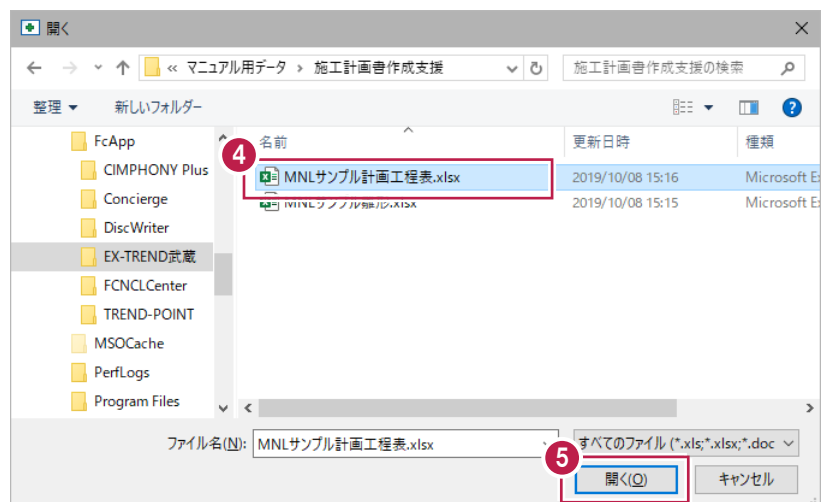


④ サンプルデータ「MNL_サンプル計画工程表.xlsx」を選択します。

サンプルデータは以下のフォルダーに格納されています。

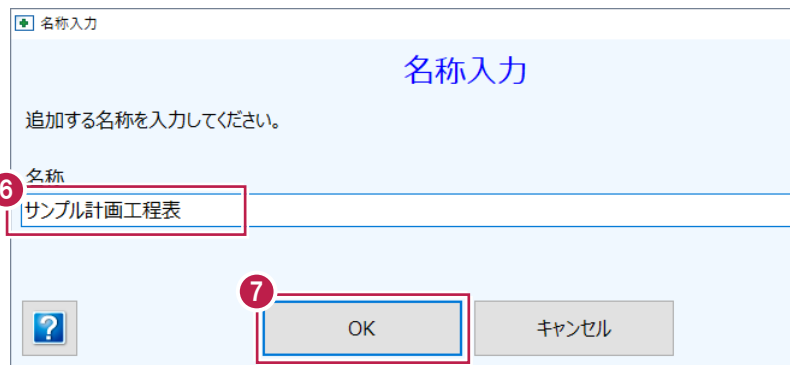
C:\¥FcApp¥EX-TREND 武蔵 ¥マニュアル用データ¥施工計画書作成支援

⑤ [開く] をクリックします。

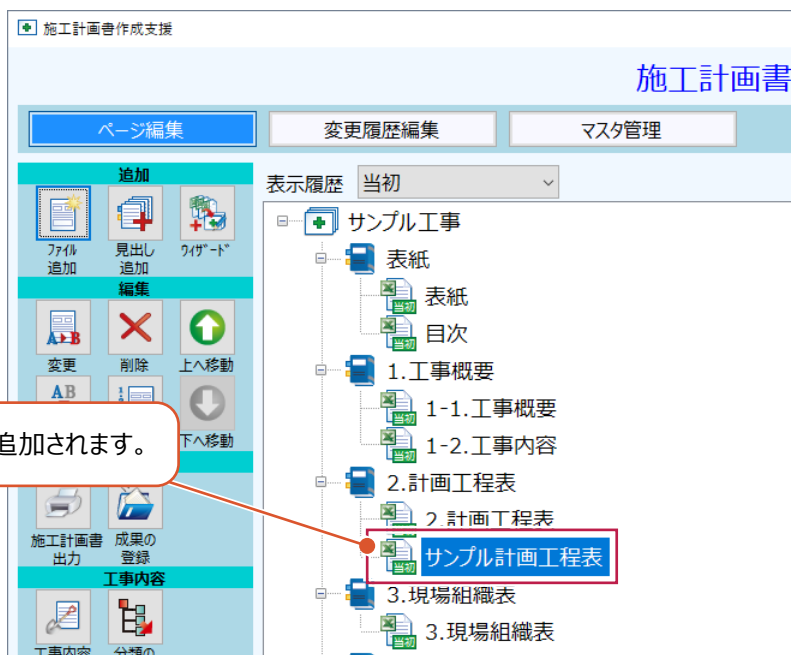


6 名称に「サンプル計画工程表」と入力します。

7 [OK] をクリックします。

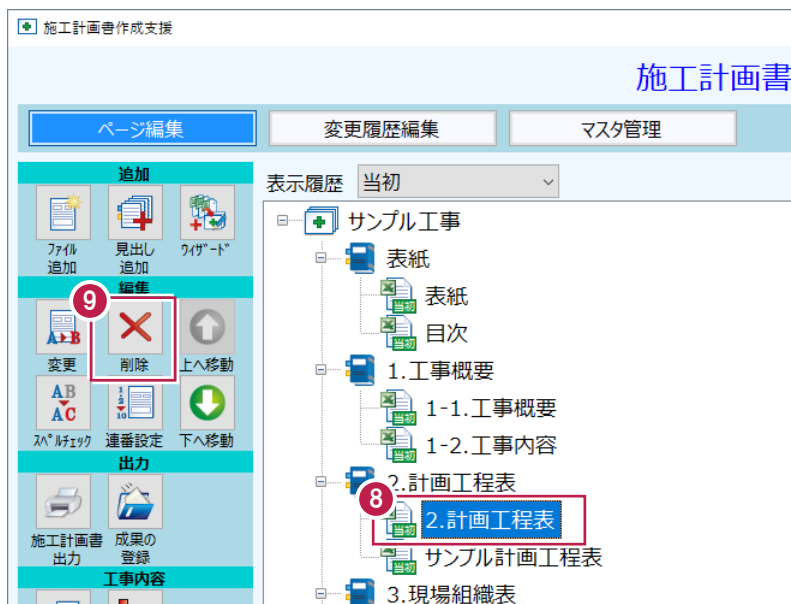


指定した書類の下に追加されます。

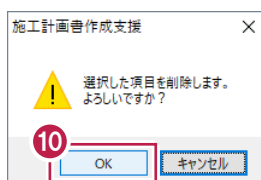


8 削除する書類を選択します。

9 [削除] をクリックします。



10 [OK] をクリックします。



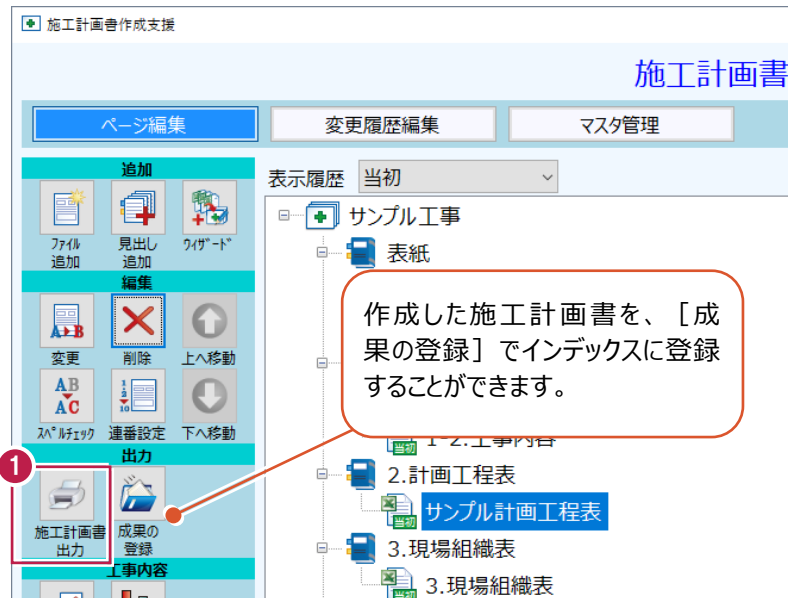
2-10 施工計画書の出力とプログラムの終了

施工計画書を出力する方法を説明します。

■ 施工計画書の出力

- ① [施工計画書出力] をクリックします。

《参照》 参考.入力専用ライセンス



- ② [ページ番号出力方法] は [目次と印刷ページに番号を出力] を選択します。

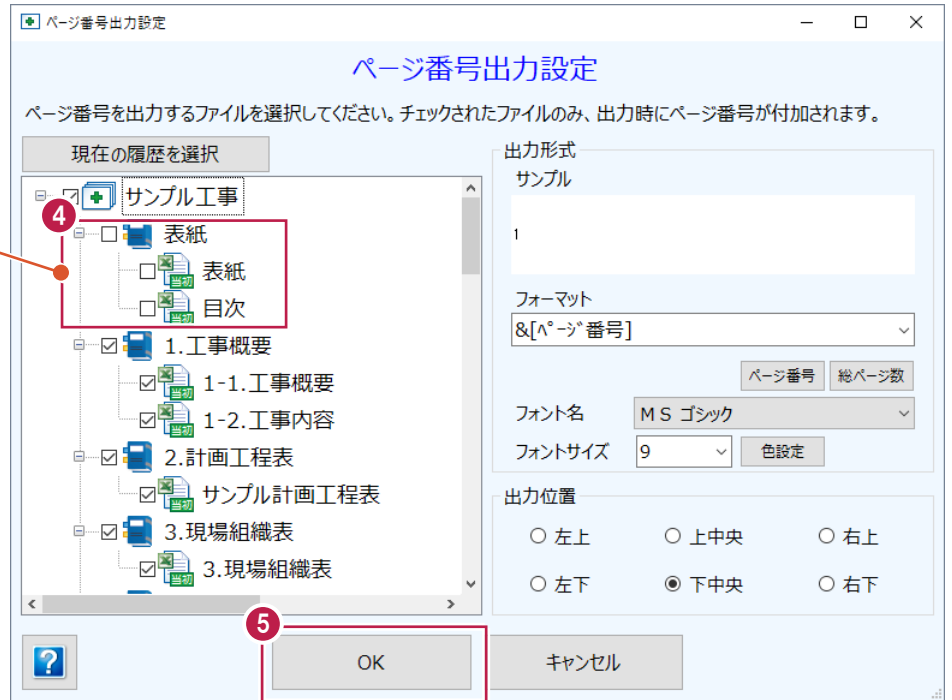
- ③ [ページ番号出力設定] の [変更] をクリックします。



4 [表紙] をオフにします。

ここでは、表紙と目次には
ページ番号を付けません。

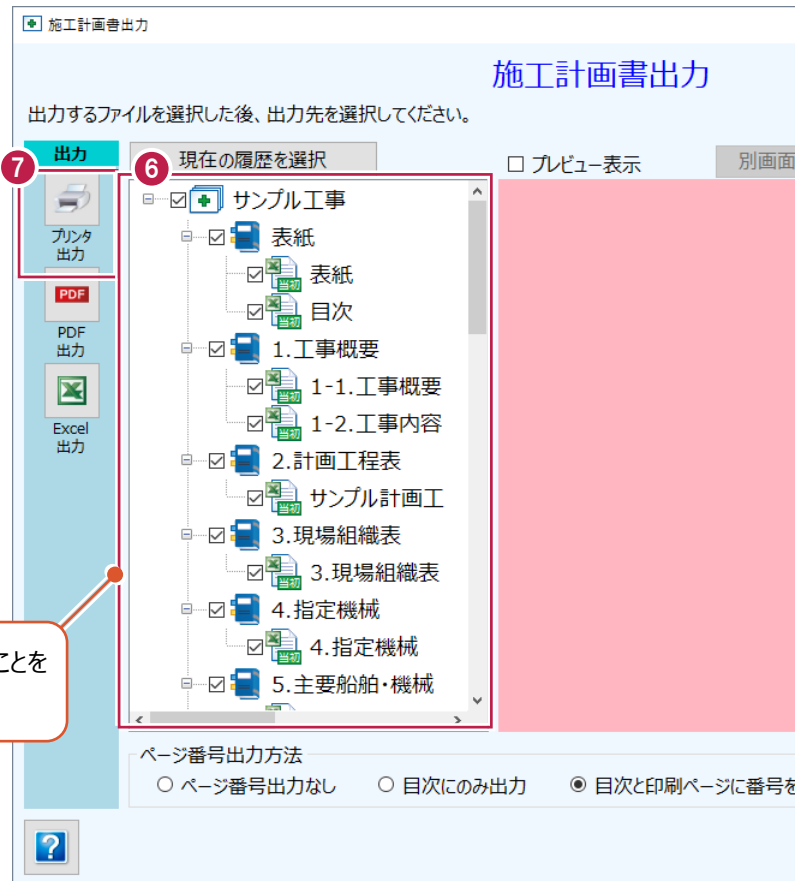
5 [OK] をクリックします。



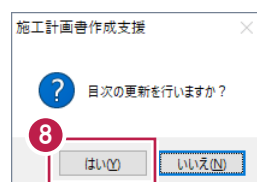
6 すべてオンになっていることを確認します。

7 [プリンタ出力] をクリックします。

すべてオンになっていることを
確認します。



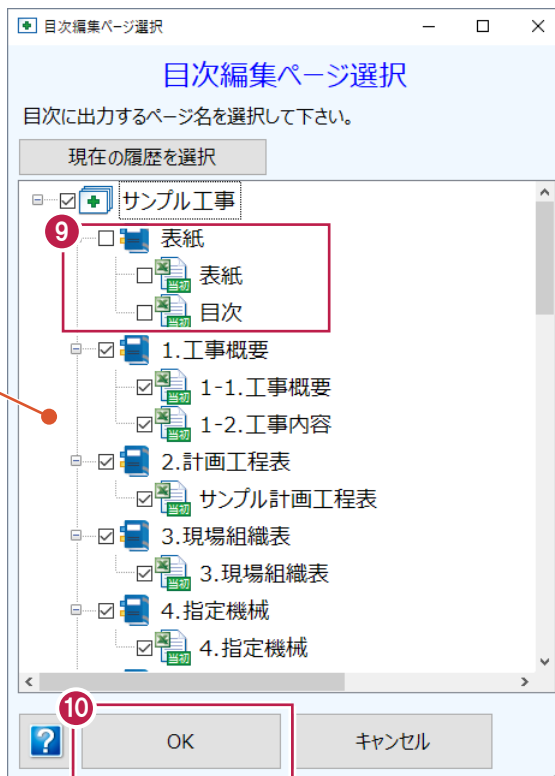
8 [はい] をクリックします。



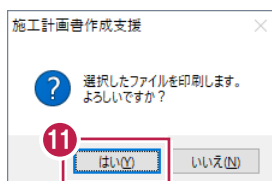
9 [表紙] をオフにします。

目次に出力するページ名をオンにします。
ここでは目次に記載するページ名は
[1. 工事概要] から開始するため、
[表紙] をオフにします。

10 [OK] をクリックします。

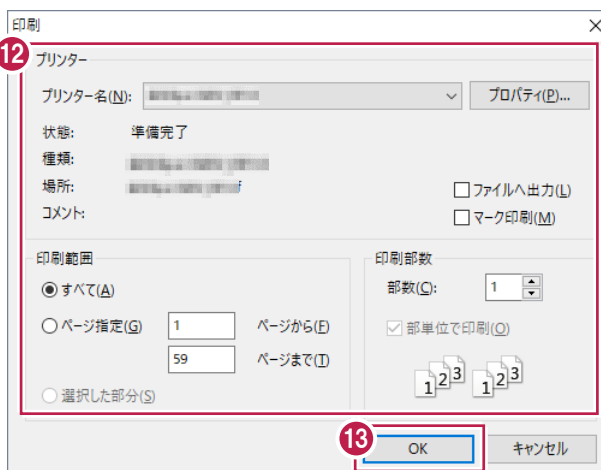


11 [[はい] をクリックします。



12 印刷ダイアログでプリンター名や印刷範囲・印刷部数などを設定します。

13 [OK] をクリックします。



目次

1. 工事概要	1
1-1. 工事概要	1
1-2. 工事内容	2
2. 計画工程表	4
フル計画工程表	4
表	5
■総論表	5
.....	7
■環境	7
.....	8
■船舶・橋	8
.....	9
■資材	9
(主要機械、仮設機計画、工事用地等を含む)	11
【方法(主要機械、仮設機計画、工事用地等を含む)	11
計画	15
■総管理	15
.....	16
■安全管理	17
.....	19
■真管理	19
.....	30
■質保証	31
.....	32
■金管理体制	32

1. 工事概要

1-1. 工事概要

.....

令和元年9月28日

令和元年9月28日

0 円

内消費税の額(〇〇〇〇円)

100-000-0000

〇〇出機所

100-000-0000

〇〇県〇〇市〇〇

100-000-0000

〇〇作業所

100-000-0000

1

表紙と目次にはページ番号が出力されていません。

ページ番号が出力されています。

設定通り「工事概要」からページ番号が出力されています。

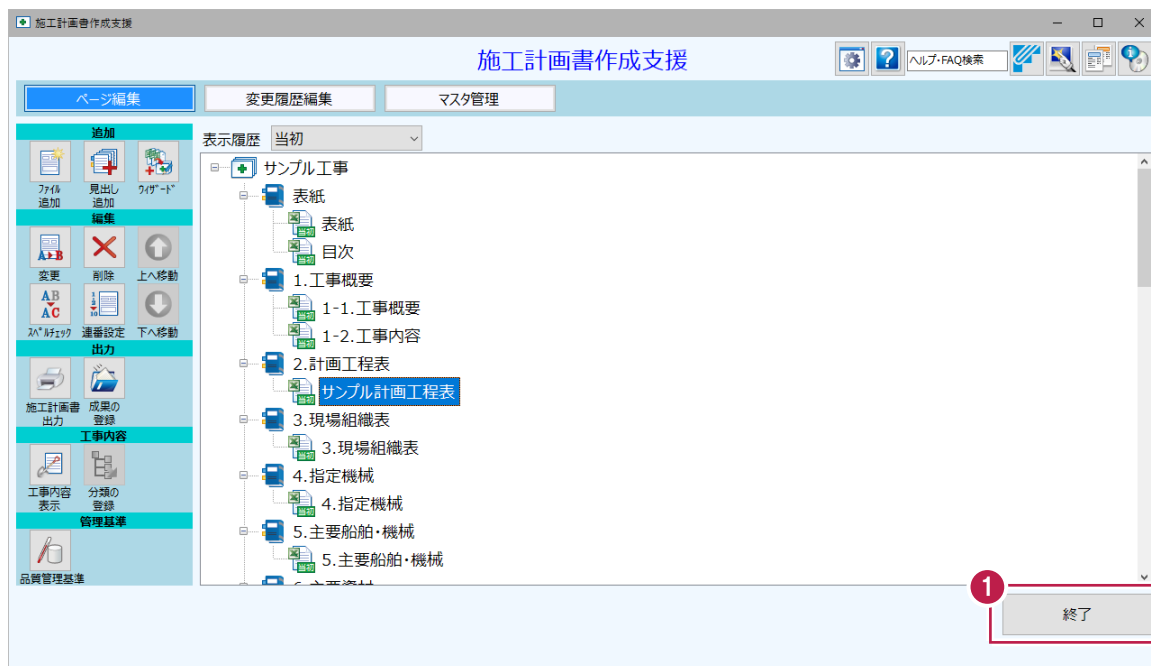
14 印刷終了後「閉じる」をクリックします。

目次にのみ出力 目次と印刷ページに番号を出力

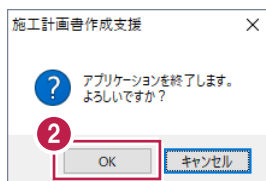
14 閉じる

■ 施工計画書作成支援の終了

① [終了] をクリックします。



② [OK] をクリックします。



3

変更施工計画書の作成

数量に変更が発生した場合の設計変更施工計画書を作成する手順を説明します。

3-1 工事内容の変更

2章で作成した施工計画書の工事内容を表示し、掘削工の数量を変更します。

- 1 「施工計画書作成支援を開始するには、ここをダブルクリックしてください。」をダブルクリックします。



- 2 「工事内容表示」をクリックします。



③ 「掘削工」を選択します。

工事内容				
	名称	数量	単位	管理基
<input type="checkbox"/>	工事			
<input type="checkbox"/>	工 準備工	1	式	
<input type="checkbox"/>	種 現地踏査・現地測量	200	m	
<input type="checkbox"/>	工 道路土工	1	式	
<input checked="" type="checkbox"/>	種出 掘削工	2000	m ³	<input type="radio"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	種出 路体盛土	2000	m ³	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	種 路床盛土	2000	m ³	
<input type="checkbox"/>	工 排水構造物工	1	式	
<input type="checkbox"/>	種 排水工	1	式	
<input type="checkbox"/>	細 自由勾配側溝	400	m	

④ [数量] を「2200」に変更します。

⑤ [登録] をクリックします。

「掘削工」の数量を「2000」から「2200」に変更します。

管理基準出力選択
全項目解除 管理基準項目

④ 数量・単位入力 ⑤ 登録

数量

丸め 小数点 0 桁

単位

出来形管理基準タイプ選択
土木タイプ

写真管理基準タイプ選択

掘削工の数量が「2200」m³に変更されたことが確認できます。

工事内容				
	名称	数量	単位	管理基
<input type="checkbox"/>	工事			
<input type="checkbox"/>	工 準備工	1	式	
<input type="checkbox"/>	種 現地踏査・現地測量	200	m	
<input type="checkbox"/>	工 道路土工	1	式	
<input checked="" type="checkbox"/>	種出 掘削工	2200	m ³	<input type="radio"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	種出 路体盛土	2000	m ³	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	種 路床盛土	2000	m ³	
<input type="checkbox"/>	工 排水構造物工	1	式	
<input type="checkbox"/>	種 排水工	1	式	
<input type="checkbox"/>	細 自由勾配側溝	400	m	
<input type="checkbox"/>	細 プレキャストボックス工	10	m	
<input type="checkbox"/>	工 舗装工	1	式	
<input type="checkbox"/>	種 アスファルト舗装工	1	式	
<input type="checkbox"/>	細 下層路盤工	2000	m ²	
<input type="checkbox"/>	細 上層路盤工 粒度調整路...	2000	m ²	
<input type="checkbox"/>	細 表層工	2000	m ²	

3-2 設計変更施工計画書の作成

数量を変更した設計変更施工計画書を作成します。

① [工事内容の反映] をクリックします。

工事内容				
	名称	数量	単位	管理基
<input type="checkbox"/>	工事			
<input type="checkbox"/>	工 準備工	1	式	
<input type="checkbox"/>	種 現地踏査・現地測量	200	m	
<input type="checkbox"/>	工 道路土工	1	式	
<input checked="" type="checkbox"/>	種出 掘削工	2200	m3	<input type="radio"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	種出 路体盛土	2000	m3	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	種 路床盛土	2000	m3	
<input type="checkbox"/>	工 排水構造物工	1	式	
<input type="checkbox"/>	種 排水工	1	式	
<input type="checkbox"/>	細 自由勾配側溝	400	m	
<input type="checkbox"/>	細 プレキャストボックス工	10	m	
<input type="checkbox"/>	工 舗装工	1	式	
<input type="checkbox"/>	種 アスファルト舗装工	1	式	
<input type="checkbox"/>	細 下層路盤工	2000	m2	
<input type="checkbox"/>	細 上層路盤工 粒度調整路...	2000	m2	
<input type="checkbox"/>	細 表層工	2000	m2	
<input type="checkbox"/>	工 仮設道路	80	m	

② [はい] をクリックします。

施工計画書作成支援

工事内容、資機材の変更も、「設計変更」として施工計画書に反映します。
変更も反映した場合、現在編集中の工事内容、資機材が保存され、元に戻すことはできません。

よろしいですか？

はい...「設計変更」として登録します。
いいえ...工事内容、資機材を変更します。
キャンセル...何もしません。

はい(Y) いいえ(N) キャンセル

[はい] : 変更したExcelを「設計変更」として作成します（当初のExcelを履歴として残します）。

[いいえ] : 当初のExcelを上書きして変更します（入力間違いなどによる変更の場合などに選択します）。

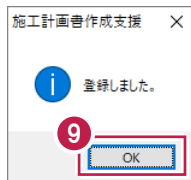
[キャンセル] : 何もしません（Excelは変更されません）。

- ③ [設計変更名] に「第一回設計変更」と入力します。
- ④ [コメント] に「数量変更」と入力します。
- ⑤ [設計変更日] を確認します。
- ⑥ [OK] をクリックします。

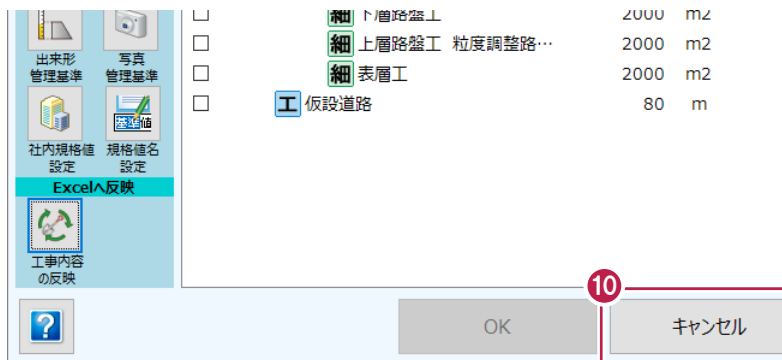
- ⑦ [はい] をクリックします。

- ⑧ [OK] をクリックします。

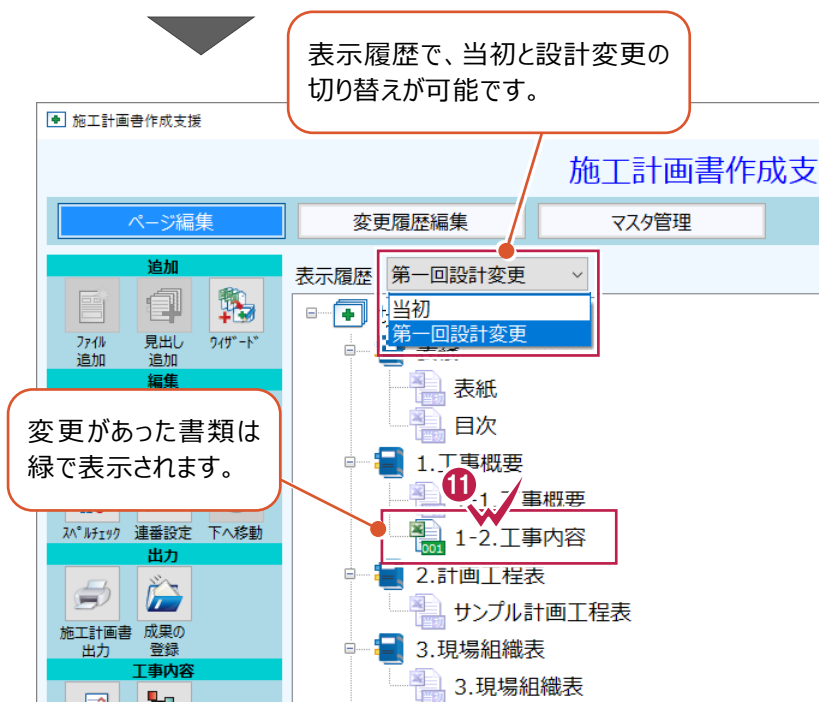
9 [OK] をクリックします。



10 [キャンセル] をクリックします。



11 変更された [1-2.工事内容] をダブルクリックします。



工事区分	工種	数量	摘要
	準備工		
	現地踏査・現地測量	m	200
	道路土工	式	
	掘削工	m ³	2200 2000
	路体盛土	m ³	2000
	路床盛土	m ³	2000
	排水構造物工	式	1
	排水工	式	

EX-TREND武蔵を起動するには、プロテクトキー（ネット認証ライセンスやUSBプロテクト）が必要になります。

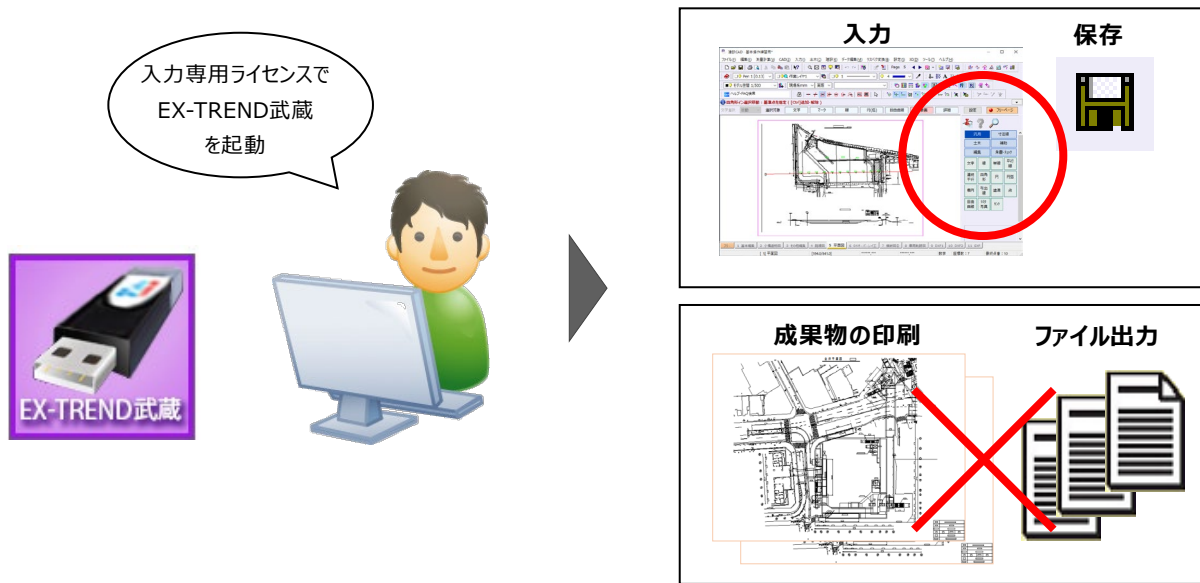
ネット認証ライセンス

USBプロテクト



ほかの方がプロテクトキーを使用中で空きがないときでも「入力専用ライセンス」を利用することで、EX-TREND武蔵を起動して作業することができます。

ただし、「入力専用ライセンス」で起動しているときには、データの入力や保存は可能ですが、成果物の印刷やファイルの出力ができませんのでご注意ください。

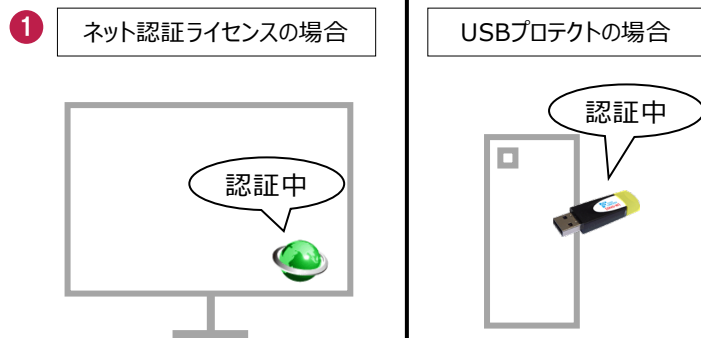


ここでは、「入力専用ライセンス」の使用方法和、起動・終了方法について説明します。

1-1 入力専用ライセンスの使用方法

入力専用ライセンスを使用するために、親となるネット認証ライセンスやUSBプロテクトからライセンス情報を取得します。ライセンス情報の取得をおこなうには、ネット認証ライセンスを認証する必要があります。（USBプロテクトの場合はパソコンに装着する必要があります。）

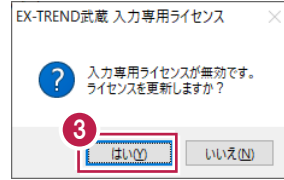
- 1 ネット認証ライセンスの認証、または USB プロテクトの装着をおこないます。



② [入力専用ライセンス] をダブルクリックします。

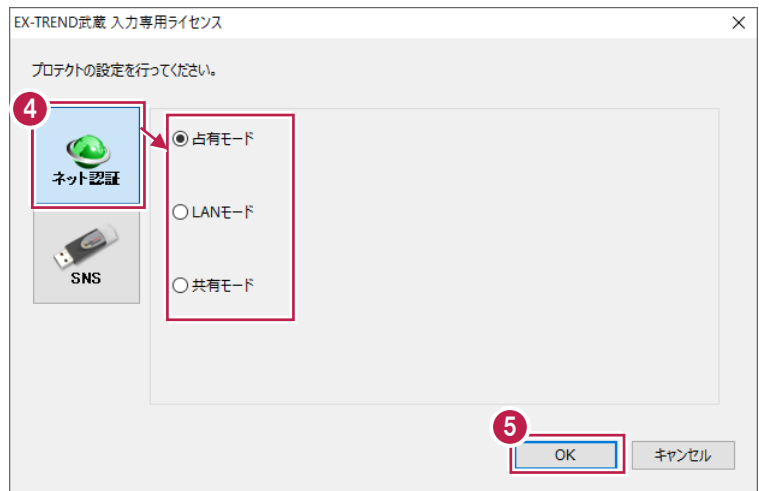


③ [はい] をクリックします。

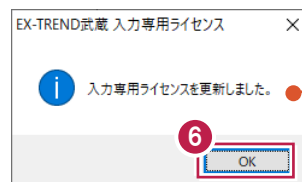


④ 取得するライセンスの種類を選択します。
(右の例は、ネット認証ライセンスの占有モード
を利用している場合です。)

⑤ [OK] をクリックします。



⑥ [OK] をクリックします。



ライセンス情報の取得が完了したら、
ネット認証ライセンスの解除や
USBプロテクトの取り外しをおこ
なっても構いません。

⑦ デスクトップ左下に、入力専用ライセンス
起動中のアイコンが表示されたことを確認しま
す。



1-2 入力専用ライセンスでEX-TREND武蔵を起動する

入力専用ライセンスを起動し、[EX-TREND武蔵 インデックス] を起動します。

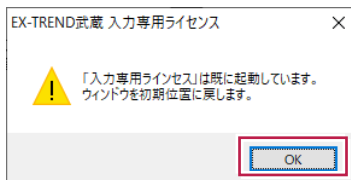
※はじめて入力専用ライセンスを使用する場合は、「1-1 入力専用ライセンスの使用方法」を確認してください。

- ① [入力専用ライセンス] をダブルクリックします。

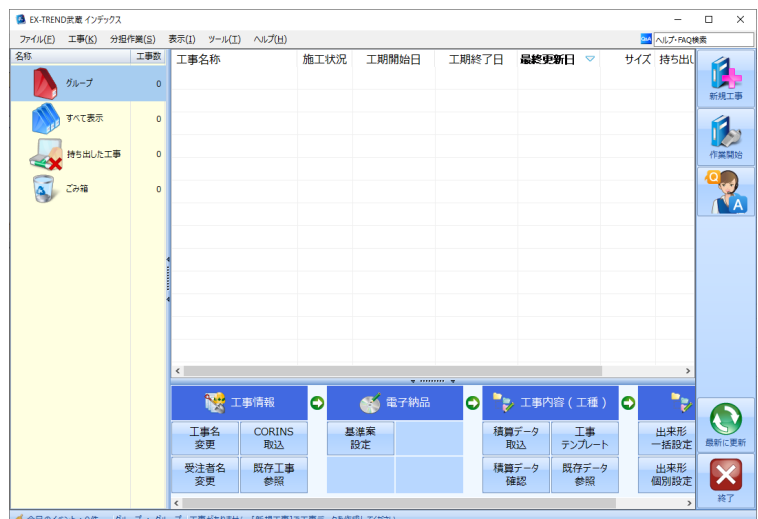


- ② デスクトップ左下に、入力専用ライセンス起動中のアイコンが表示されたことを確認します。

すでに入力専用ライセンスが起動中の場合は、以下のメッセージが表示されますので [OK] をクリックしてください。



- ③ [EX-TREND 武蔵 インデックス] をダブルクリックします。

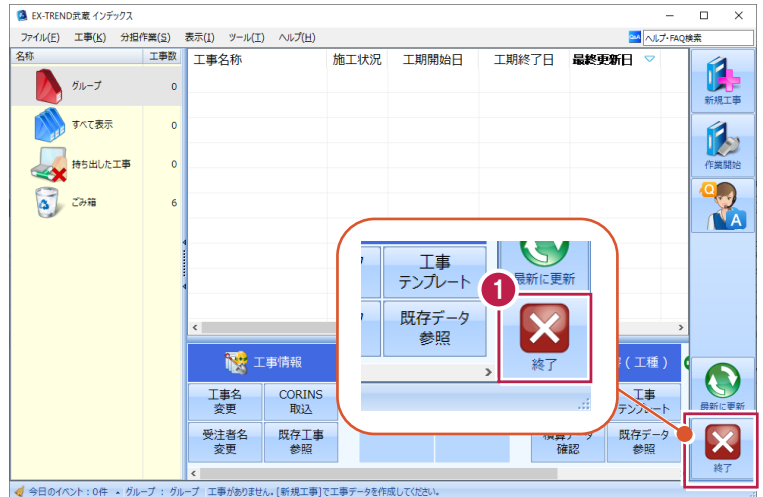


1-3 入力専用ライセンスの終了

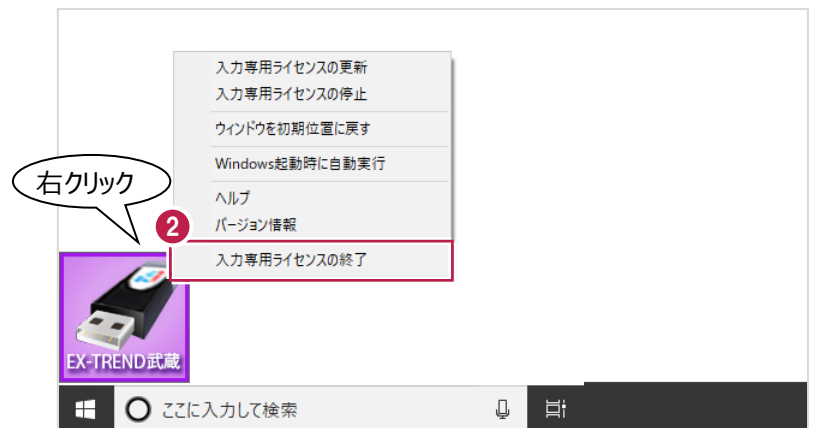
入力専用ライセンスは、ネット認証ライセンスおよびUSBプロテクトとの同時利用ができません。
例えば、「ネット認証ライセンス」を認証している状態でも「入力専用ライセンス」を起動している場合は、「入力専用ライセンス」が優先され、印刷や出力などができなくなります。

ここでは、入力専用ライセンスの終了方法を説明します。

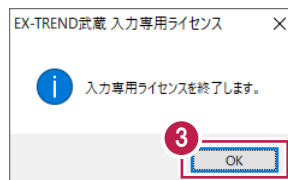
- 1 EX-TREND 武蔵を起動している場合は、
[終了] をクリックします。



- 2 入力専用ライセンス起動中のアイコンを
右クリックし、[入力専用ライセンスの終了] を
クリックします。



- 3 [OK] をクリックします。



- 4 入力専用ライセンス起動中のアイコンがなくなっ
たことを確認します。

